

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会

はじめに

平成29年4月から本格的に社会福祉法人改革がスタートいたしました。平成28年度から改正法施行に向け準備を行い、平成29年度は組織体制や事業運営の透明性の向上（財務諸表、現況報告書、役員報酬基準等の公表にかかる規程の整備等）など、導入においては円滑に進めることができました。

今後は、社会福祉法人の公益性・非営利性を確保し、地域社会に貢献するといった社会福祉法人が備えるべき本来の役割を強め、福祉の重要な担い手として地域住民の期待に応える存在となるよう努めます。

平成29年度は、特に重点事項の②中長期計画の実践と検証及び第3期中長期計画の策定、③人材育成と成長支援制度の構築、④地域における公益的な取組の拡充、に力を入れて取り組みました。

法人の「経営理念」「あるべき将来像」「期待する職員像」を明確化し、それぞれのシステムが連携し合う制度を目指しました。あるべき姿である法人の基本理念を実現するために、取り組むべき課題（目標・計画）を具体化・実効化していきます。

地域における公益的な取組を進めていく上で、関係機関とのネットワークの構築に努めました。西予市の5社会福祉法人の連絡会や地域包括ケアシステム人材育成事業への参加などにより、情報の共有を図り、協働した事業を実施することができました。顔の見える連携を大切にしながら、地域のニーズの把握に努め、地域における公益的な取組を加速させていきたいと考えます。

利用者の方が安心して生活していただけるために又、地域社会におけるセーフティネットを構成する社会資源として、地域に暮らし人々に安心をもたらす、信頼される社会福祉法人になるためには、職員一人ひとりが尊厳を守るサービスの実施を意識することが不可欠です。職員の人材育成を積極的に行い、親しみを感じていただける社会福祉法人となるよう努めて参ります。

I 基本理念

- 共生 ～ともに生きともに育つ～

II 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

Ⅲ 重点事項への取組

①改正社会福祉法への対応

平成29年度には、経営組織の見直しや財務規律の強化、行政関与の在り方などについて社会福祉法の大きな改正がありました。業務執行の決定機関である理事会、法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、理事の職務執行の監査を行う監事という新組織体制で経営を進めています。

又、公認会計士による財務会計に関する内部統制の向上に対する支援を受け、内部統制を整備運用して行く体制を整えました。

②中長期計画の実践と検証及び第3期中長期計画の策定

第2期中長期計画の実践について達成度を定期的に検証し、課題に対しては改善策を見直しながら進めました。

外部環境の変化、将来の方向を見通した未来志向の経営管理を推進するために、平成30年度からの第3期中長期計画の策定を行いました。

③人材育成と成長支援制度の構築

平成28年度から引き続き、平成30年度からの成長支援制度導入を目指し体制を整えました。人材育成制度、人事考課制度、処遇制度、昇進昇格制度の4つの制度の整合性を取りながら運用します。職員一人ひとりの成長を支援し、その結果として法人の組織力向上を目指します。

階層ごとに求められる役割を理解し、その役割を遂行するために必要な能力の習得や成長を育成するために、平成29年度は主任・副主任を対象とした「リーダー研修会」、補佐・施設長を対象とした「幹部職員研修会」を継続して行いました。

④地域における公益的な取組の拡充

「地域における公益的な取組」は改正社会福祉法第24条第2項で規定され、その定義について、ア、社会福祉を目的とした福祉サービスとして提供される。イ、サービスの受け手は心身の状況や家族環境、経済的な理由により支援が必要な人である。ウ、無料で行う事業か、発生した費用を下回る料金を徴収して行う事業である。この3要件をすべて満たす必要とされていましたが、社会福祉法人がより一層取り組みやすいものとし、地域の実情に応じた福祉サービスの充実を図ることができるように、「地域における公益的な取組」に係る運用が緩和されました。平成29年度に実施した取組について、X地域における公益的な取組で事業所別に報告します。

⑤障害児入所施設事業の移行

平成24年4月に改正児童福祉法が施行され、障害児入所施設においては障害種別が一元化されるとともに、対象者は本来の児童として、18歳以上は障害者施策で対応することになりました。この改正により平成30年3月末の経過措置期間終了までに、(1)障害児施設として維持。(2)障害者施設に転換(3)障害児施設と障害者施設の併設、から選択し対応することになっていました。しかし、移行手続き等について、具体的な方向性が示されないため当法人のみならず、県内、全国各地の同事業所でも進展がない状況でした。ようやく厚生労働省から同経過措置が平成32年度末まで3年間延期となる通知が平成29年3月に出了ました。

平成29年度に入り、障害児入所施設事業の今後をどうするかさらに検討してきました。現状を踏まえ考慮する中で、存続は極めて困難との方向性を見出しております。また、愛媛県知的障害者福祉協会より、18歳以上のいわゆる加齢児が引き続き現施設での入所生活を支障なく継続出来るよう、障害者施設設置認可の要望書を愛媛県に提出していただきました。今後、行政機関等と十分協議し法人の方針を決定したいと思っております。

IV 事業実施状況

期 日	事 業 名	場 所	適 要
4月3日	辞令交付式	野村育成園ホール	
4月14日	第1回理事会	野城ふれあい館	土地取得・他
4月17日	建設用地売買契約締結	野城ふれあい館	共同生活事業所あさかぜ「あさかぜ」
5月18日	菊池公認会計士決算精査	野城ふれあい館	平成28年度決算チェック
5月19日	決算内部監査	野城ふれあい館	平成28年度決算チェック
5月23日	法人決算監事監査	野村学園・しいのき園・野村学園	平成29年度決算、業務監査
5月24日	法人決算監事監査	法正園・寿楽苑・奥伊予荘	平成28年度決算、業務監査
5月30日	第2回理事会	野城ふれあい館	平成28年度決算精査・決算精査・役員選出・他
6月5日	高等学校就職説明訪問	川之石高校、三瓶高校	
6月6日	高等学校就職説明訪問	野村高校、北宇和高校、宇和高校	
6月14日	放火未遂事件の説明会	野城ふれあい館	
6月22日	第1回評議員会	野城ふれあい館	平成28年度決算精査、決算精査、役員選出、他
	第3回理事会	野城ふれあい館	理事長選出、他
6月30日	入札	野城ふれあい館	奥伊予荘車輛、法正園車輛
			徳川高齢者生活福祉センター車輛 あさかぜホーム新築請負
7月21日	第4回理事会	野城ふれあい館	あさかぜホーム新築請負契約締結・他
7月22日	第1期新規採用試験	野城ふれあい館	応募者9名中4名採用
8月9日	野村町盆踊り大会参加	乙亥会館	
	第1回西予市社会福祉法人連絡会議	野城ふれあい館	西予市5社会福祉法人
8月10日	ストレスチェック実施	全事業所対象	
	第2回評議員会の決議があったものとみなされた日		基本財産の追加による定款変更決議
8月29日	菊池公認会計士会計支援指導	本部・奥伊予荘	
9月21日	菊池公認会計士会計支援指導	法正園・寿楽苑・奥伊予荘	
9月23日	法人奉仕作業	野村・城川地域	
9月29日	第5回理事会	野城ふれあい館	補正予算、他
9月30日	第2期新規採用試験	野城ふれあい館	応募者5名中5名採用
	正職員登用試験		応募者12名中9名登用
10月18日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野村学園・野村育成園	監査法人四国アシスト
10月30日	上半期決算内部監査	野城ふれあい館	
10月31日	上半期決算監事監査	野村学園・寿楽苑・奥伊予荘	
11月2日	上半期決算監事監査	法正園・野村育成園・しいのき園	
11月9日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野城ふれあい館	監査法人四国アシスト
11月10日		野城ふれあい館	
11月16日	法人役職員施設研修	島根県	いわみ福祉会
11月27日	入札	野城ふれあい館	寿楽苑リフト車輛
11月30日	事業所実践発表	野村育成園放流ホール	
	第2回西予市社会福祉法人連絡会議	教育保健センター	西予市5社会福祉法人
12月8日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野城ふれあい館	監査法人四国アシスト
12月22日	奨学生審査委員会	野城ふれあい館	奨学生1名決定
2月9日	法人役員協議会	野城ふれあい館	
2月16日	社会福祉法人経営者協議会監事監査研修会	松山市	監事1名参加
2月18日	保護者・高校生対象就職フェア	八幡浜地方局	

2月27日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	野村育成園、野村学園	監査法人四国アシスト
3月3日	ふれあい館のつどい	野城ふれあい館	
3月7日	西予市合同就職面接会	宇和文化会館	
3月8日	学生向け障がい者合同就職説明会	宇和支援学校	
3月13日	第3回西予市社会福祉法人連絡会議	野城ふれあい館	西予市5社会福祉法人
3月19日	第6回理事会	野城ふれあい館	平成20年度事業計画、収支予算、他
	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	法正園、しいのき園	監査法人四国アシスト
3月22日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務	寿楽苑、奥伊予荘	監査法人四国アシスト
3月30日	第3回評議員会の決議があったものとみなされた日		公益事業（法人意見事業）の追加
3月30日	退職辞令交付	野城ふれあい館	対象者8名

V 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得すべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため実施しました。

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	場所
1	6月20日	4時間	リーダー研修会 (22名)	講師:大塚恭子 伝達力向上研修	野城ふれあい館
2	7月18日	4時間	幹部職員研修会 (11名)	講師:大塚恭子 伝達力向上研修	野城ふれあい館
3	8月22日	4時間	リーダー研修会 (21名)	講師:大塚恭子 コーチング基礎編	野城ふれあい館
4	9月19日	4時間	幹部職員研修会 (11名)	講師:大塚恭子 コーチング基礎編	野城ふれあい館
5	9月27日	2時間	地域連携研究会 法人職員、地域一般 (66名)	講師:石井真奈 アンガーマネジメント	野城ふれあい館
6	10月24日	4時間	リーダー研修会 (21名)	講師:大塚恭子 クレーム対応研修	野城ふれあい館
7	11月30日	1時間30分	事業所実践発表会 (163名)	発表事業所:奥伊予荘、しいのき園、キッズ	野村育成園
8	12月12日	4時間	幹部職員研修会 (11名)	講師:大塚恭子 コーチング基礎編	野城ふれあい館
13	3月26日	終日	新規採用者施設内研修 (17名)	理事長講話、講義:メンタルヘルス、他	野城ふれあい館
14	3月27日	終日	新規採用者施設内研修 (11名)	事業所視察研修	各事業所
15	3月28日	終日	新規採用者施設内研修 (14名)	講義:高齢者の理解と支援、実技:基本介護技術の習得、他	法正園
16	3月29日	終日	新規採用者施設内研修 (16名)	講義:身体拘束・虐待防止の理解、講義:接遇、他	野城ふれあい館
17	3月30日	終日	新規採用者施設内研修 (10名)	実技:基本介護技術の習得、講義に関する基礎知識、他	法正園

VI 成長支援制度の取組

期 日	会 議 名	検 討 内 容	場 所
4月5日	事務局会（3名）	人事考課の基本方針（案）、人事考課表（案）、目標シート（案）、他	野城ふれあい館
4月17日	プロジェクト会議（12名）	人事考課の基本方針（案）、人事考課表（案）、目標シート（案）、他	野城ふれあい館
5月16日	事務局会（3名）	人事考課表の修正、階層別期待行動一覧修正、評価者・被評価者関係表作成、他	野城ふれあい館
6月1日	事務局会（3名）	人事考課表の修正、階層別期待行動一覧修正、評価者・被評価者関係表作成、他	野城ふれあい館
6月19日	プロジェクト会議（12名）	スキルチェックシート、階層別期待行動一覧、人事考課の基本方針、年間スケジュール、他	野城ふれあい館
7月5日	事務局会（3名）	スキルチェックシート、評価者・被評価者・目標の関係、成長支援制度運用マニュアル（案）	野城ふれあい館
7月19日	事務局会（3名）	評価者・被評価者・目標の関係、施設別役職ポスト数の設定、成長支援制度運用マニュアル（案）	野城ふれあい館
8月2日	プロジェクト会議（12名）	評価者・被評価者・目標の関係、施設別役職ポスト数の設定、成長支援制度運用マニュアル（案）、制度導入までの流れ、他	野城ふれあい館
8月30日	プロジェクト会議（12名）	人事考課表、成長支援制度運用マニュアル（案）、他	野城ふれあい館
	事務局会（3名）	職員説明会の進め方、仮運用期間の設定、他	野城ふれあい館
9月1日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	野村学園
9月8日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	奥伊予荘
9月22日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	法正園
10月2日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	しいのき園
10月13日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	寿楽苑
10月26日	職員説明会	成長支援制度運用マニュアル説明	野村育成園
11月1日	成長支援評価者研修会	成長支援評価者研修	野城ふれあい館
11月6日	成長支援評価者研修会	成長支援評価者研修	野城ふれあい館
11月21日	成長支援評価者研修会	成長支援評価者研修	野城ふれあい館
	事務局会（3名）	チーム目標・個人目標仮設定、人事考課仮実施の課題、他	
12月11日	施設長補佐研修	施設のアドバイザーとしての役割、他	野城ふれあい館
12月20日	個人目標設定ミーティング	個人目標設定事前うち合わせ	しいのき園・野村学園・寿楽苑・奥伊予荘
12月22日	チーム目標設定	個人目標設定	寿楽苑
12月26日	事務局会（3名）	チーム目標・個人目標仮設定、人事考課仮実施の課題、他	野城ふれあい館
1月5日	チーム目標設定会	チーム目標設定	野村学園・奥伊予荘
1月16日	チーム目標設定会	チーム目標設定	野村育成園

1月18日	チーム目標設定会	チーム目標設定	しいのき園
1月22日	チーム目標設定会	チーム目標設定	寿楽苑
2月2日	チーム目標設定会	チーム目標設定	法正園
2月13日	個人目標設定研修会	個人目標設定	野城ふれあい館
2月20日	個人目標設定研修会	個人目標設定	野城ふれあい館
2月27日	事務局会（3名）	平成30年度運用計画確認	野城ふれあい館

Ⅶ 理事会

第1回理事会

期 日 平成29年4月14日（金）

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事6人、監事1人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第 1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第 2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第1号）について
報告 第 3号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第2号）について
報告 第 4号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第3号）について
報告 第 5号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第4号）について
報告 第 6号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第5号）について
報告 第 7号	養護老人ホーム奥伊予荘運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第6号）について

○ 議案審議

議 案 番 号	件 名
議案 第 1号	土地の取得について

第2回理事会

期 日 平成29年5月30日（火）

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事5人、監事2人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第 8号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について

○ 議案審議

議 案 番 号	件 名
議案 第 2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第 3号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会役員等の報酬等に関する規程制定について
議案 第 4号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会慶弔見舞金規程の制定について
議案 第 5号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第 6号	養護老人ホーム奥伊予荘利用者預り金等管理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第 7号	共同生活事業所かぜ「あさかぜホーム」建築に伴う法定外公共物（赤道）の払い下げ計画について
議案 第 8号	平成28年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第 9号	平成28年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第10号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会新役員候補者の推薦について
議案 第11号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員会の招集について

第3回理事会

期 日 平成29年6月22日（木）

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事6人、監事2人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第 9号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第10号	新任期の役員について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会理事長の選定について
議案 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会業務執行理事の選定について
議案 第14号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案 第15号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について
議案 第16号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第17号	平成29年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について

第4回理事会

期 日 平成29年7月21日（金）
 場 所 野城ふれあい館
 出席人数 理事6人、監事2人
 案 件

○ 報 告

報告番号	件名
報告 第11号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第12号	平成29年6月30日施行（新規車両購入）入札結果について
報告 第13号	土地（里道）の売買契約締結について
報告 第14号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定（専決処分第7号）について
報告 第15号	職員の懲戒処分（専決処分第8号）について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第18号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第19号	共同生活事業所かぜ「あさかぜホーム」新築工事請負契約について
議案 第20号	職員の懲戒処分について

第5回理事会

期 日 平成29年9月29日(金)

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事6人、監事1人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第16号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第17号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議 案 番 号	件 名
議案 第21号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第22号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第23号	平成29年度育成園拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第24号	平成29年度法正園拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第25号	平成29年度寿楽苑拠点区分補正予算(第2号)について

第6回理事会

期 日 平成30年3月19日(月)

場 所 野城ふれあい館

出席人数 理事6人、監事2人

案 件

○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第18号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第19号	平成29年11月27日施行(新規車両購入)入札結果について
報告 第20号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議 案 番 号	件 名
議案 第26号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会法人後見実施要綱の制定について
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会法人後見運営委員会設置要綱の制定について

議案 第29号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第30号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第31号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第32号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第33号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会継続雇用に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第34号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第35号	介護予防デイサービスセンターふれあひまたは第1号通所事業運営規程の全部改正について
議案 第36号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第37号	介護予防通所介護事業所惣川高齢者生活福祉センターまたは第1号通所事業運営規程の全部改正について
議案 第38号	通所介護事業所惣川高齢者生活福祉センター運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第39号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第40号	平成29年度野村育成園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第41号	平成29年度野村学園成人部拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第42号	平成29年度野村学園児童部拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第43号	平成29年度法正園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第44号	平成29年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第45号	平成29年度しいのき園拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第46号	平成29年度寿楽苑拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第47号	平成29年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第48号	平成30年度給食業務委託契約更新について
議案 第49号	平成30年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第50号	平成30年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第51号	平成30年度野村学園成人部拠点区分収支予算について
議案 第52号	平成30年度野村学園児童部拠点区分収支予算について
議案 第53号	平成30年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第54号	平成30年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第55号	平成30年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第56号	平成30年度寿楽苑拠点区分収支予算について

議案 第57号	平成30年度奥伊予荘拠点区分収支予算について
議案 第58号	平成30年度奨学金事業拠点区分収支予算について
議案 第59号	平成30年度法人後見事業拠点区分収支予算について

Ⅷ 評議員会

第1回定時評議員会

期 日 平成29年6月22日（木）
 場 所 野城ふれあい館
 出席人数 評議員7人、理事4名、監事2人
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会役員等の報酬等に関する規程制定について
議案 第3号	平成28年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第4号	平成28年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第5号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会新役員の選任について

第2回評議員会（書面による同意）

期 日 平成29年8月10日（評議員会の決議があったものとみなされた日）
 人 数 評議員7人
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第6号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

第3回評議員会（書面による同意）

期 日 平成30年3月30日（評議員会の決議があったものとみなされた日）
 人 数 評議員7人
 案 件

○ 議案審議

議案番号	件 名
議案 第7号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について

IX 専門委員会実施状況

委員会	実施回数	内 容
統括委員会	12	経営管理・整備・研究
主任補佐会	1	情報伝達・職場環境整備
広報委員会	3	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	2	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	9	階層別研修、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
総務・財政委員会	11	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	9	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	6	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	4	計画策定、状況確認、評価
ステップ委員会	11	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート、ふれあい館のついで開催
危機管理委員会	2	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明

Ⅹ 地域における公益的な取組

【法人本部】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
施設開放	4月25日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	5月3日	朝霧湖マラソン	野城ふれあい館駐車場・トイレ・休憩場所	7時間			水道使用・電気使用
	5月9日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	5月22日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	7月11日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	7月25日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	8月9日	西予市の5社会福祉法人連絡会	野城ふれあい館ホール	3時間			
	8月25日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	3時間			
	9月26日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	9月27日	地域連携講演会	野城ふれあい館ホール	2時間			
	10月10日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	10月18日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	6時間			
	10月24日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	11月28日	乙亥祭	野城ふれあい館駐車場・トイレ	7時間			
	12月5日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	1月9日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
	1月23日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間			
2月13日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間				
2月27日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間				
3月13日	西予市の5社会福祉法人連絡会	野城ふれあい館ホール	3時間				
3月27日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館ホール	2時間				
奨学金事業	平成29年度	3名奨学生に奨学金を貸与				1,800,000	
奉仕作業	9月23日	法人奉仕作業	野村・城川地区	3時間			
イベント(地域との交流)	3月3日	ふれあい館の集い	野城ふれあい館全域	3時間			
器具貸し出し	9月30日	車椅子		7時間			
印刷	11月23日	西予市社会福祉大会壁面掲示物印刷	西予市社会福祉協議会主催 西予市文化会館				とりのこ用紙大8枚

【野村育成園関係事業】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	参加人数	負担費用(円)	備考
ハート&ハート	5月18日	ミュージック・ケアの実践	城川町下相上	2時間	2		食事会
	5月23日		脳はつらつ会(ふれあい館)	1.5時間	2		
	5月26日		本町3丁目	1.5時間	2		
	6月14日		上氏宮	1.5時間	2		
	6月21日		中屋敷	2時間	2		食事会
	6月22日		久保谷	1.5時間	2		
	7月24日		退職教員対象(ふれあい館)	1.5時間	2		
	11月17日		本町一丁目	1.5時間	2		
	11月21日		木落	1.5時間	2		
	11月22日		権現	2時間	1		食事会
	1月22日		松溪	2時間	2		食事会
	2月7日		本町2丁目	1.5時間	2		
	3月6日		城川町田穂	2時間	2		
	3月22日		城川町野井川	2時間	2		
幼稚園芋植え	6月9日	芋植え・演芸交流	野村育成園	2時間	10		
愛媛県人権同和教育研究大会	8月23日	分科会にてグループワーク・発表等に関する協議を済ませ		2時間	4		H30～四園大会
幼稚園芋ほり交流	10月3日	芋ほり・演芸交流	愛媛県立松山北高等学校	2時間	10		
寄せ植え講習会	12月9日	寄せ植え講習	阿下地区	2時間	3		
人権教育課見学	12月15日	あおぞら施設見学	商工会	2時間	3		
			あおぞら・マルシェ	3時間	3		まんま屋弁当

【野村学園関係事業】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
公道管理	4月6日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道	2時間	2		
	4月19日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2		
	4月27日	雑木の伐採、片付け	園周辺市道	2時間	3		
	5月1日	道路清掃	園周辺市道	4時間	9		
	5月2日	道路清掃	園周辺市道	4時間	8		
	7月28日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2		
	8月1日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2		
	1月26日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	3時間	2		
	2月1日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	3時間	4		
	2月5日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	5時間	6		
あまぎり園マラソン協力	2月6日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	5時間	6		
	2月7日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	5時間	6		
	2月8日	除雪作業	野村ダム藤棚～学園	5時間	6		
	5月3日	給水ボランティア・ミスٹシャワー設置	学園上コース沿い	3時間	8		
	5月18日	スポーツ交流	野村学園	3時間	16		
	6月11日	スポーツ交流	野村学園	2時間	5		
	毎月1回	ゴミ拾い	野村ダム周辺	2時間	4		
	7月1日	イベント交流	野村学園	3時間	28		
	6月19日～30日	保育実習生受け入れ (松山東雲短期大学2名)	野村学園	8時間	6		9泊90時間以上
	9月15日～28日	保育実習生受け入れ (福永短期大学2名)	野村学園	8時間	6		9泊90時間以上
人材育成	10月15日～27日	保育実習生受け入れ (松山東雲女子大学2名)	野村学園	8時間	6		10泊
	11月27日～12月8日	保育実習生受け入れ (松山東雲短期大学2名)	野村学園	8時間	6		10泊
	10月21日	イベント交流	野村学園	4時間	40		
学園祭交流会	11月21日	ミュージック・ケアの実践	木落	1.5時間	1		
	3月6日	ミュージック・ケアの実践	城川町田穂	2時間	1		

【法正園関係事業】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	法正園			204,685	利用者1名
お試しデイ	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンターふれあい			41,092	利用者2名
外部への貸出	4月～3月	新規利用者が試して利用	デイサービスセンターふれあい	1日			3月末までに23名利用
無料送迎	10月～3月	踊りの稽古場として貸出	なごみホール	9時間(1回)/週			職員・派遣員(180円/1時間)
	年間	惣川高齢者生活福祉センター無料送迎	惣川高齢者生活福祉センター				39名利用

【しいのき園関係事業】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
ハート&ハート	H30年1月	上肢・下肢運動 認知症予防運動	野村町松溪	3時間	1		
法人減免	~H30年1月	利用者負担額の軽減	しいのき園		1	145,156	利用者1名
野村高校出前講座	6月15日	基本的介護技術と車いす体験	野村高校	2時間	3		2クラス
野村高校出前講座	10月10日	基本的介護技術と車いす体験	野村高校	1時間	3		1クラス
野村小6年生出前講座	10月26日	高齢者の特徴や接し方の学習	野村小学校	1時間30分	1		
野村小6年生介護体験	11月1日	各ユニット10名程度に分かれ利 用者と交流	しいのき園	1時間30分	10		
野村中学校出前講座	11月14日	基本的介護技術と車いす体験	野村中学校	2時間	6		
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	6月16日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	18		外部6名
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	7月21日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	12		外部5名
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	8月30日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	15		外部5名
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	9月29日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	12		外部4名
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	10月20日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	12		外部2名
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	11月17日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	10		
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	12月15日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	7		
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	1月19日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	8		
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	2月16日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	6		
県ワザ介護勉強会 (在宅支那)	3月16日	基礎的介護技術・応用等	しいのき園	2時間	6		
駐車場の提供	5月	朝霧湖マラソン	しいのき駐車場	8時間	0		
駐車場の提供	8月	野村納涼花火大会	しいのき駐車場	8時間	0		
福祉用具の貸し出し	4~3月	車いす・歩行器・ポータブ ルトイレ等	しいのき園	希望期間	0		ポータブルトイレ: 7月12'15 8月12'15 12月2'15 12月20'25

【寿楽苑関係事業】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
法人減免	10月～3月	介護福祉サービスマン25%軽減	寿楽苑			69,834	利用者1名
おとしデイ	4月～3月	新規利用者に対しておとしデイで利用	デイサービスセンター-寿楽苑	1日		0	5名利用
入浴サービス	4月～3月	障害者生活支援(生きがい事業代替え)	デイサービスセンター-寿楽苑	1日		85,000	17回利用
高齢者福祉部会出前講座	6月	野村高校出前講座	野村高校		8		寿楽苑3名
	10月	野村高校出前講座	野村高校		7		寿楽苑3名

【奥伊予荘】

取組名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
奥伊予のつどい	5月21日	地域住民との交流(DVD上映・介護ワンポイント研修)	奥伊予荘	3時間	4		
	7月23日	地域住民との交流(DVD上映・誤嚥、脱水分止研修)	奥伊予荘	3時間	4		
	9月24日	地域住民との交流(防災研修)	奥伊予荘	3時間	5	4,000	消防署協力
	11月19日	地域住民との交流(DVD上映・感染症防止研修)どろんこのうた展示	奥伊予荘	3時間	4		野村学園協力
高齢者福祉部会出前講座	6月15日	野村高校出前講座	野村高校		1		
	10月10日	野村高校出前講座	野村高校		1		
なかよしサロンとの交流	10月8日	おりがみ	奥伊予荘	2時間	1		

XI ハート&ハート事業報告

【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1法人（施設）1実践」活動を実践する。

【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指す。

法人が自ら地域の中に入っていくことで、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。

また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていく。

【事業内容】

野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。

謝礼や講師料、交通費は頂かない。

ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来る範囲でサブの職員が同行する。

平成29年度においては、特に奨学金制度の説明を行い、法人の広報活動の一端を担うことを心掛けた。

【周知方法】

- 1 社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付
- 2 地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

【実施状況】

	実施日	地区名	会場	
1	5月14日	本町2丁目	集会所	
2	5月27日	本町3丁目	集会所	
3	6月10日	氏宮	集会所	
4	6月14日	退職女教師の会	ふれあい館	
5	6月16日	城川①	高川改善センター	
6	6月22日	中屋敷	集会所	
7	7月7日	松尾	集会所	初
8	7月31日	太田	集会所	
9	8月10日	久保谷	集会所	初
10	9月5日	城川②	高川改善センター	
11	9月9日	城川③	高川改善センター	
12	9月14日	大西	集会所	初
13	9月20日	権現	集会所	
14	9月26日	城川④	高川改善センター	
15	10月7日	旭	集会所	

	実施日	地区名	会場	
16	10月12日	岩村	集会所	
17	11月9日	荒瀬	集会所	初
18	11月15日	木落	集会所	初
19	11月21日	本町1丁目	集会所	
20	12月9日	城川・陰の地	集会所	
21	12月15日	城川・土居	集会所	
22	12月20日	城川・菊の谷	集会所	
23	2月7日	城川・魚成古市	集会所	初
24	2月21日	松溪	集会所	
25	2月23日	城川・今田	集会所	
26	3月14日	城川・田穂	集会所	

【反省と今後の課題】

平成25年度から始まったハート&ハート事業ですが、今年度は新たに6カ所のサロンから依頼がありました。大きな成果であったと考えます。その地域の参加者からは「こんなに楽しいなら、来年も是非来てほしい」との声も頂いており、継続して行えるような体制が必要です。

本来、和みの場の提供を目指しています。ミュージック・ケア以外の職員の技術や知識を提供することも目的としていますので、No.24の松溪地区のように、ハンドセラピーの資格を取得した職員が同行し、ハンドケアを施術することで好評を得ることができたことは大きな収穫でした。一方、他の専門職の参加ができなかったことは反省すべきです。法人全体として取り組むためのプログラムが必要と考えます。

その他にも、法人の奨学金制度について、身近なところで説明を行い、法人に対する共感や理解を得ることが出来たのではないかと考えます。

今後においても、法人職員が施設の利用者以外の方と身近にかかわることのできる場として、地域福祉のニーズを把握すると共に施設の広報活動を行っていきたいと思います。そのためには、多様な専門職が関わる事ができるように、人材の育成や、派遣時の業務の調整など法人全体で取り組む体制を確立していきたいと思います。

XII 事業所別事業報告

【障害・児童福祉部】

障害事業では利用者の安全・安心を第一と考え、老朽化していたGH「あさかぜ」の移設を計画、安全を重視したGHを建設することができました。また、新たな事業の取り組みとして、要介護認定者・身体障害者手帳取得者を対象とした「ふれあい収集事業」を開始、独居者の安否確認・衛生的な生活環境の改善が図れるよう、地域貢献に取り組んでいるところです。

次に、社会貢献活動の一環として「大学・短大」から、教育・保育実習学生の受け入れや各種団体との交流・ハート&ハート事業を実施しました。ハート&ハートにおいては、地域からのニーズも高まっていることから、今後は地域に出向いていける職員の育成が急務だと考えております。

児童事業では、放課後児童健全育成事業を「野村・城川」の両小学校区に於いて、それぞれ運営しているところです。両校区とも少子・過疎・核家族化などと合わせて、保護者の多様な働き方や生活スタイル等、児童を取り巻く環境は大きく変化しています。

そこで、下校後や休校時において児童の安全確保や健全育成、保護者の安心感を第一として、地域に根ざした事業に位置付けられるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

福祉サービス第三者評価においては「障害・児童」共に受審し、専門的見地から具体的な問題点を客観的に評価して頂きました。今後は評価して頂いた内容を元に現状を把握し、より質の高いサービス提供に努めて参ります。さらに社会貢献事業においても、既存事業への上乗せ・横だしやハート&ハート等、地域との交流を通じた貢献が出来るよう努力していきます。

1. 障害者支援施設野村育成園

(1) 行動指針

生活の場と活動の場を提供すると共に、日常生活又は社会生活を営むことができるよう個々に合った相談援助、支援を行っていきます。

利用者や家族の意向を把握し、職員間で連携してサービスの充実・質を上げていけるよう努めていきます。

①人権の尊重

利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立った障害福祉サービスの提供に努めていきます。

②人材育成

諸々の障害の特性を把握出来るよう、研修会や講習会等への参加、資格取得等行い自らを成長させていきます。

③地域福祉への貢献

施設や、職員の持っている知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献していきます。

(2) 重点事項

①機能低下防止の取り組み

利用者の高齢化重度化が進んでおり、加齢による身体の機能低下を少しでも緩やかなものにしようと、機能訓練の内容を変更し取り組みました。創作活動を取り入れることで、利用者から「もっとやりたい」「たのしい」等の声がかかるようになり、利用者にとって退屈気味であった機能訓練から、楽しみのある機能訓練へと変わりつつあります。職員からは、貼り絵、塗り絵等だけではなく、リハビリを兼ねたゲーム等を行ってはどうかとの意見も出るようになり、職員の意欲向上といった効果もみられました。

②個別支援計画の充実（合理的配慮）

定期的なカンファレンスを実施し、利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を行いました。家族の要望であった日帰り帰省や施設に入所している母親に里帰りを兼ねて面会する事が実現出来、家族の方も喜んで頂きました。本人のニーズに基づき、魚釣り等の個別外出に今まで以上に取り組みました。

また、家族の都合に応じて、カンファレンスを土日にも実施しました。カンファレンスを実施する際には、相談支援事業所こすもすの職員が参加したり、入退院時のカンファレンスでは、関係機関を交えての話し合いが来ています。

③高齢化・看取り対策検討

29年度は、入院により常時酸素吸入が必要となった利用者への対応として、導入に向け使用方法についての説明(研修)を行いました。

また、癌手術を受けられ、抗がん剤治療のため通院されている利用者へ、心のケアを含め、家族・医療機関と連携し対応することができました。

現段階で看取り介護を要望されている方はいませんが、引き続き、喀痰吸引・介護技術伝達講習等の資格取得や家族が付き添える環境を整えていく必要があると思います。

④施設入所者定員数の確保

12月に2名の入所者があり現在（男子44名、女子36名）80名満床となっています。

新入所者1名は、日中就労B型を利用されており、昨年度から開始した通所生活介護サービスは継続して行っています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	日中活動の充実	・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実を図りました。
	利用者の意向にそったケアの実施	・定期的なカンファレンスを実施し、利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を行いました。(ケア会議への家族、利用者の参加率アップを図り、44名の家族が参加して頂きました。) ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	家族との連絡の徹底	・家族が来園されたときや広報誌を利用して、園での様子を伝えました。 ・各担当者が家族に電話連絡を行い、利用者の近況報告などを行っています。
	家族との信頼関係作り	・家族へ出納帳のコピーを送付しました。 ・広報誌に家族からの質問内容も掲載し、信頼関係の構築に努めました。
	家族との交流	・観月会、清掃活動、乙亥相撲観戦など、家族と交流できるような行事を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・食事作りやおやつ作り等を行い、美味しく楽しめる食事の提供に努めました。 ・選択メニューの際には合理的配慮として、利用者一人一人に写真を見てもらいながら、本人が食べたい物を選んで頂いています。 ・寮や個別での外食を取り入れ、楽しんで頂きました。
	利用者の安全確保と事故防止	・事故報告書やヒヤリハットにおいて、モニタリングを行い再発防止に努め、事故報告の件数は減りました。高齢化・重度化による疾病や転倒など難しい一面がありました。 ・防犯カメラを設置し外部からの進入に備え安全確保に努めています。

	身体拘束・虐待廃止対策	・苦情、虐待、拘束等の報告は、毎月適切に報告され対応できました。 ・家族からの申し出を公表していく体制をとり、迅速な対応を心掛けました。
	感染症の予防	・職員からの持込をなくし、一丸となって取り組んでいます。
施設設備の充実	庭園の改修	・環境整備、憩いの場作りとしてあさひ寮庭園の改修を行いました。
	安心して、楽しく暮らせる環境作り	・利用者にあった食事用テーブルや椅子を適宜見直し対応しています。
地域との連携	幼稚園との交流会	・芋植え、芋掘り体験とホールにて交流会を実施しました。
	地域行事への参加	・地方祭や地域のイベント夜市等に参加し、地域の方と交流することができました。
	ボランティアの受け入れ	・夏休みボランティア活動での小学生の受け入れ、中学生の「福祉」体験学習ボランティアの受け入れを行いました。 ・地域の方のボランティアを受け入れ、腹話術や歌を通して交流を図る事ができました。
	広報誌の発行	・年3回の広報誌発行に加え、ホームページでも園での様子を随時発信しました。
	地域貢献、ニーズの把握	・地域のサロンに出向くハート&ハート、わくわくミュージック、保健師や地域包括支援センター等の依頼による各種教室などで、ミュージックケアを年間で45回実施することにより、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識付けていく事に繋がったと思われまます。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・2ヵ月に1度、車椅子介助、食事介助を疑似体験を交えての研修や、褥瘡、感染症、強度行動障害についての研修を実施しました。
	虐待についての研修会	・アンケート結果からテーマを絞り、各事業所の様々な業種の職員でグループワークを行い、虐待防止に向けての意識を各職員が再度学びました。
	園内伝達研修	・出張や各研修先で学ばれた介護技術等を職員が講師となり、伝達講習会を実施した。
	普通救命救急	・西予市消防署野村支署より2名の方に講師として来て頂き、普通救命救急3時間講習を実施し、28名の職員が参加しました。
	エルダー制度の運用	・エルダー制度の運用をし、新人教育を行うと共に、先輩となる職員の育成に努めました。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・高齢化、重度化に伴い長期入院される方が多く、稼働率の低下となりましたが、通所生活介護利用者を受け入れ、稼働率の向上と単価のアップを図りました。
	設備に対してのコストダウン	・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	・のいくネットワーク委員会にて、業務の見直し等の検討を行いました。
	職員間の懇親会	・育成園互助会のピアガーデン、観月会等を行いました。

(4) 行事報告

月	行 事	各種大会・研修会	家族・地域の行事
4月	希望外出 (遠足等)	新人育成研修会	県総会 (理事会・運営委員会) 南予総会(理事会) 家族会総会 出納帳送付
5月	希望外出 健康診断(1回目)	県障害者スポーツ大会 南予ソフトボール大会 園内職員研修会	家族会役員会 広報誌発行
6月	希望外出	第1回施設長会 南予地区予選ソフトボール大会(県) 福祉のつどいソフトボール大会(県) 新任研修会 南予レクバレー大会	幼稚園(芋植え交流会) 家族ふれあい行事
7月	希望外出 夜市外出	四国地区施設長会 中国・四国地区職員研修会 園内職員研修会	土曜夜市 出納帳送付
8月	希望外出 利用者納涼祭	職員研修会 四国地区職員研修協議会 青年部夏季研修会	
9月		全国知的障害者職員研修会	広報誌発行
10月	希望旅行	職員研修会 福祉まつり 全国障害者スポーツ大会	幼稚園(芋掘り交流会) 家族ふれあい行事 出納帳送付
11月	希望旅行 健康診断(2回目) 乙亥祭・収穫祭 インフルエンザ予防接種	施設長会 南予施設会研修会 ゆうあいスポーツ四国 園内職員研修会	家族ふれあい行事(乙亥)
12月	クリスマス会&忘年会 餅つき・大掃除	南予企画委員会 青年部冬季研修会	家族会役員会
1月	希望外出 初詣	運営委員会・施設長会・園内職員研修会 障害者支援施設部会全国大会	広報誌発行 出納帳送付
2月	節分 希望外出	四国地区施設長会	
3月	お別れ遠足・サーカス	南予球技大会実行委員会	家族会役員会
各月	利用者集会(自治会隔月)、避難訓練、誕生会、職員会(隔月)、各寮会、研修委員会 運営委員会、生活保健給食環境、安全衛生管理委員会、機能訓練スタッフ会、 のいくネットワーク(サービス・苦情・虐待・拘束)支援体制委員会、イベント委員会		
適宜	入所検討委員会、防災対策委員会、エルダー委員会		

(5) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,286	95.3%	98.1%
5	2,480	2,366	95.4%	97.3%
6	2,400	2,359	98.3%	97.4%
7	2,480	2,418	97.5%	93.7%
8	2,480	2,316	93.4%	95.3%
9	2,400	2,275	94.8%	95.4%
10	2,480	2,357	95.0%	94.5%
11	2,400	2,297	95.7%	97.8%
12	2,480	2,418	97.5%	97.8%
1	2,480	2,393	96.5%	95.3%
2	2,240	2,197	98.1%	95.9%
3	2,480	2,446	98.6%	91.5%
合計	29,200	28,128	96.3%	95.8%

(6) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,698	96.5%	98.1%
5	1,840	1,784	97.0%	98.6%
6	1,760	1,752	99.5%	97.5%
7	1,840	1,839	99.9%	94.1%
8	1,840	1,739	94.5%	95.9%
9	1,760	1,712	97.3%	95.7%
10	1,840	1,797	97.7%	94.5%
11	1,760	1,727	98.1%	97.9%
12	1,840	1,816	98.7%	99.7%
1	1,840	1,823	99.1%	97.7%
2	1,600	1,571	98.2%	96.1%
3	1,840	1,815	98.6%	91.5%
合計	21,520	21,073	97.9%	96.4%

入所者障害支援区分別

(H30年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
3	9	34	34	5.14

男性 44名

女性 36名

平均年齢

59.1歳

2. 共同生活事業所かぜ

(1) 行動指針

- ①地域の共同住宅において、利用者が共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて介護、相談その他日常生活での援助を適切かつ効果的に行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- ③地域や家庭との結びつきを重視し、市町村、他の障害福祉サービス事業者、その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めます。
- ④利用者の障害について正しく理解し、エンパワーメントの視点を大切にし、より自立した生活ができるよう支援します。
- ⑤職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

(2) 重点事項

①夜間支援従事者の配置

利用者の高齢化、重度化に対応すべく、宿直を行う夜間支援従事者を配置し、夜間及び深夜の時間を通じて、定期的な居室の巡回や緊急時の支援等を提供できる体制を確保しています。また、宿直ホーム以外のホームについては、必要な防災体制または利用者に病状の急変その他の緊急事態が生じたときに、利用者の呼び出し等に速やかに対応できるよう、常時の連絡体制を確保しています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	利用者の意向に沿った支援の実施	・定期的なカンファレンスを実施し、「おもいマップ」を利用して、本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。
	家族との連絡の徹底	・野村育成園家族会等や日々必要に応じて連絡を行いました。
	家族との交流	・野村育成園家族会行事等（納涼祭等のふれあい行事）を通して交流を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・日々の生活の中で食事作りの手伝いをさせていただきました。 ・世話人研修会として市の栄養士等による食事作りに関する研修を行いました。
	利用者の安全確保と事故防止	・通勤等や日々の生活の中で危ない場面があったとの報告を受けました。その都度話をし、また利用者自治会等で交通ルールに関する話を行いました。 ・防犯カメラを設置し外部からの進入に備え安全確保に努めています。
	身体拘束・虐待廃止対策	・当事業所には苦情はありませんでしたが、GH利用者から関係事業所に苦情がありました。当事業所としても虐待防止のために話し合いを行いました。 ・世話人研修会として虐待についての研修会を行いました。
感染症の予防	・世話人研修会として、市の保健師に講師を依頼し「感染症対策」についての研修を行いました。 ・感染症対策セットの中身の見直しを行いました。 ・1月にインフルエンザ職員1名利用者9名発症、感染が拡大したため保健所へ報告を行いました。	

施設設備の充実	各ホームの修繕	・各ホームの設備に不具合がある箇所については家主に依頼中です。
	安心して暮らせる環境作り	・特に高齢の方が多いホームについては、ヒートショック予防のため脱衣所にヒーターを設置しました。 ・老朽化したホームの新築工事実施、平成30年3月完成 4月より新しいホームでの生活を開始予定。
地域との連携	地域行事への参加	・地方祭や地域のイベントに参加し、地域の方と交流することができました。また、町内会の奉仕作業や駅伝の選手として参加をしました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・サービス管理責任者、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加しました。その他に「世話人研修会」として、「栄養」「感染症対策」「虐待」について研修をしました。
	外部研修への参加	・サービス管理責任者、支援員については「お金の勉強会」等の利用者支援に繋がる研修会へも参加をしました。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・前年度とほぼ同じでした。(利用状況参照)
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	・事務作業の効率化を図るため、業務を分担しました。
	職員間の懇親会	・野村育成園互助会の行事、野城ふれあい館の他事業所との交流に参加しました。
	労働災害の防止	・労災事例はありませんでした。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	自治会外出 (花見等) れんげ祭り (宇和)	スタッフ研修会	桃源郷マラソン (松野)
5月	南予ソフトボール大会 定期健診 県障害者スポーツ大会	園内研修会 (支援)	朝霧湖マラソン
6月	南予レクバレー大会 県ソフトボール大会 家族ふれあい行事 県障害者スポーツ大会 (ボウリング)		
7月	自治会そうめん流し 土曜夜市外出 あわしまさま外出	園内研修会 (普通救命)	
8月	家族会ピアガーデン	防火管理者講習	盆踊り 野村ダム花火大会
9月	自治会バーベキュー こまどり号歯科検診 協会奉仕作業	園内研修会 (虐待)	たんぼぼ工房まつり
10月	福祉まつり (南予福祉協議会) 愛媛国体		地方祭

11月	インフルエンザ予防接種 自治会旅行（九州方面） 乙亥祭（家族会） マンダリンバイレーツ交誼会	国内研修会（感染症） 世話人研修会 （栄養・感染症）	西予市定期健診（対象者）
12月	大掃除		シェイクアウトえひめ
1月	初詣 野村町駅伝大会		
2月	野村支部駅伝	国内研修会 世話人研修会（虐待）	
3月	演劇外出（肱川）		
毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会・研修委員会		
定期	カンファレンス・職員会（2ヶ月に一回）		
随時	避難訓練・地域行事外出・内部研修会・法人研修会		
毎日	ラジオ体操		

（5）利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	689	99.9%	99.9%
5	713	696	97.6%	99.4%
6	690	687	99.6%	99.9%
7	713	711	99.7%	100.0%
8	713	695	97.5%	98.3%
9	690	688	99.7%	98.3%
10	713	708	99.3%	99.4%
11	690	682	98.8%	100.0%
12	713	698	97.9%	98.2%
1	713	686	96.2%	97.6%
2	644	639	99.2%	100.0%
3	713	709	99.4%	99.4%
合計	8,396	8,288	98.7%	99.2%

入居者支援区分別

（H30年3月末現在）

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	16	5	0	0

平均区分度 3.13
 男性 17名 女性 6名
 平均年齢 54.0歳

3. ヘルパーステーション・ハート

(1) 行動指針

指定障害福祉サービスである居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護と移動支援（地域生活支援事業）の事業を通し、地域生活に必要なサービスを提供します。

① 人権の尊重

利用者一人ひとりの意見や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。

② 人材育成

安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し、研修や資格取得の機会を設けます。

③ 地域福祉への貢献

いつまでも、その人らしく、その人が望む生活ができるよう地域社会を支えます。

(2) 重点事項

① 利用者の意思を尊重します。

② 個々に応じたサービスを提供します。

③ 信頼関係を築きます。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
在宅・居住サービス	居宅介護 (ホームヘルプ)	在宅者に対する、自宅での介護等を行いました。 ・家事援助～掃除・洗濯・調理等 ・身体介護～入浴・更衣等 ・通院等介助～病院、官公庁等への移動
	同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供(代読・代筆を含む)等の、外出支援を行いました。
	行動援護	知的障害または精神障害により行動上著しく困難を有する方であって、常時介護を要する方に、危険を回避するために必要な支援・外出支援を行いました。
地域生活支援事業	移動支援	障害者・児であって、市町村が外出に支援が必要と認めた方に屋外での移動・外出のための安全確保等の支援を行いました。
サービス向上	利用者の意向に沿った支援の実施	適宜、カンファレンスを実施し、利用者の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けています。
	地域との連携	共同生活援助事業所(かぜ)・相談支援事業所(こすもす)・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を緻密に行う事で、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めました。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。
	スキルアップ	施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。 【平成29年度取得者】 同行援護従業者資格・・2名 強度行動障がい支援者資格・・2名

強度行動障がい者に対する知識と資格取得	研修参加	愛媛県相談支援協会主催の研修会に参加し、知識習得を図りました。 強度行動障がい支援者養成研修～サビ提・兼務ヘルパー
	手順書作成	30年度報酬改定に向けて、支援計画シートと手順書作成を行いました。

平成29年度サービス実績(延べ件数)			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護	家事援助	知的	9	8	8	9	9	8	10	9	11	9	10	11	111
		精神	12	18	17	22	20	18	17	16	21	18	16	29	224
		身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体介護		12	13	14	15	8	12	12	15	11	11	5	9	137
	通院等介助		0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
	同行援護		3	4	0	1	1	1	5	3	4	3	3	5	33
行動援護		8	12	15	15	13	14	13	13	13	10	12	15	153	
移動支援		6	6	4	5	8	0	5	3	7	0	10	6	60	
計		50	62	58	68	59	54	62	60	67	52	56	76	724	

(4) 行事報告

月	業 務	研 修 (O J T)	その他 (行事)
4月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 家族会総会	新任職員研修	松野町桃源郷マラソン 家族会総会
5月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援 定期健診	国内研修(虐待) 同行援護(一般)研修	県障害者スポーツ大会
6月	居宅介護 行動援護 移動支援	同行援護(応用)研修 同行援護(一般)研修 ホームヘルパー研修会	
7月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	同行援護(応用)研修 国内研修(救命救急講習)	
8月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	強度行動障害支援者養成 (基礎)研修	
9月	居宅介護 同行援護 行動援護	国内研修(排泄) 強度行動障害支援者養成 (実践)研修	
10月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		家族ふれあい行事(家族会)
11月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	国内研修(感染予防・糖尿病) 支え合いの地域づくり研修会	GH自治会旅行
12月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援	ホームヘルパーブロック別 研修会	
1月	居宅介護・同行援護・行動援護		
2月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		
3月	居宅介護・同行援護・行動援護 移動支援		
備考	・スタッフ会(毎月)・職員会・委員会・避難訓練 ・常勤、兼務者との連携を図りながら随時、依頼に対応します。		

4. 就労支援事業所あおぞら

(1) 行動指針

適切な環境と管理のもとに、利用者の能力と特性に応じた支援を行い、福祉的就労の場、日中活動の場として地域社会で生活できるよう支援します。又、就労や生産活動の機会を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を適切かつ効果的に行います。

(2) 重点事項

- ①あおぞらの生産物（花・野菜・お弁当・お菓子等）や役務（除草・剪定等）の質・信頼度の向上。
- ②農園芸、配食、店舗が一体となった積極的な生産・販売による作業収益・工賃の向上。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
農園芸	花・苗販売	季節ごとの花苗や野菜苗づくり、西予市内外の直売所、町内の園芸店等への出荷販売を行いました。28年度に比べ野菜苗、花苗の生産量が少なく売り上げが下回っています。
	外部委託・内職	剪定や除草、企業の内職作業の受託等により農閑期の作業量確保、収益の確保に努めました。 H29.5月よりごみ排出困難者の支援としてふれあい収集事業を開始しており、独居者の安否確認の役割も担っています。
配 食	お弁当・惣菜	前年と比較し、売り上げが下回っています。通常の弁当注文は同様でしたが、大口の外注弁当が少なかったことが要因にあげられます。
	菓子製造	デザインや食のアドバイザー等の意見を参考に商品の質の向上販促に向けて取り組みました。 種類等を増やしましたが売り上げ増には至りませんでした。
店 舗	営業日	より効率的に利用者支援を行うため、曜日毎の売上実績等分析し営業時間の見直しを行いました。 10:00～開店 16:00～閉店 植物、ソフトクリームの売り上げが前年を下回っています。
	地域貢献	・朝霧湖マラソン、夜市、ふれあい館まつりなどの各種イベントへの参加・協力、また、店舗営業など地域との交流を図りました。

就労支援	就労支援	関係機関の勉強会等への参加を積極的に促し、就労スキルの向上や外部の方達との交流を図りました。 研修等の内容：ビジネスマナー、お金の使い方、PC教室、職場見学など
	就労職場定着	・1名の就職者の就業時間が短縮傾向にあり、数年後も継続できているか心配なところ。 ・町内4つの企業で5名の方が職場実習を行っています。職場から理解もあり、評価もされているが本雇用には至っていません。
工賃実績	平均工賃月額	17,718円（時給換算：177円） 県平均：公表8月頃 H28年度 実績：17,408円（時給換算171円） # 県平均：16,259円 一定の支給額を満たしているため、加算の対象となっています。※ 目標工賃達成加算（Ⅲ）

(4) 行事報告

月	事業名	各種大会	家族・地域行事等
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業（1月～6月） スタッフ研修（防火管理、非常・緊急時の対応）		家族会総会（販売、弁当） ノルディックウォーク： 国体デモスポ（弁当）
5月	共立電気花壇管理 ふるさとづくり栽培管理 定期健診（利用者・職員） 利用者研修（PC） スタッフ研修（虐待）	南予福祉施設会 ソフトボール大会 （参加、弁当） 県障害者スポーツ大会 （参加）	朝霧湖マラソン （コース清掃、弁当、出店）
6月	芋植え交流会 野城ふれあい館避難訓練	南予福祉施設会 レクバレー大会 （参加） 県ソフトボール 南予大会（参加、弁当）	えがおのつどい（弁当）
7月	就労支援事業所合同説明会 ふれあい館避難訓練 利用者研修（PC） スタッフ研修（普通救命） 寄せ植え講習会（浜筋：多肉）	県レクバレー大会	商店街夜市（出店）
8月	施設見学（あい笑、虹） スタッフ研修（権利擁護、食品衛生、拘縮・褥瘡伝達研修）		

9月	共立電気花壇管理 ふるさとづくり栽培管理 利用者研修（PC） スタッフ研修（介護技術、排せつケア、アンガーマネジメント） こまどり号歯科検診		野村学園運動会（弁当） 家族会行事（弁当） たんぼぼ工房まつり （出店） 法人奉仕作業
10月	幼稚園芋ほり交流 スタッフ研修（成長支援制度） あおぞら・たんぼぼ合同避難訓練 社会見学外出（道の駅：小田、久万）、コープえひめ（東本、三津） 顧客満足度調査		愛媛国体（松山：菓子販売、野村：弁当） 西予市老施協演芸大会 （弁当） 家族ふれあい行事（販売）
11月	玉葱苗販売 インフルエンザ予防接種 利用者研修（PC） スタッフ研修（成長支援制度、南予合同研修、感染症、糖尿病、継続研修発表会） 指導監査		かぜ自治会旅行 乙亥祭り
12月	大掃除 寄せ植え講習会（阿下、商工会） 利用者研修（合同説明会：企業）		
1月	利用者研修（PC） スタッフ研修 （介護技術、合理的配慮）		
2月	春野菜・花苗播種開始 施設見学受入れ（エフピコダックス、川上公民館） 社会見学外出（砥部） 果物皮剥ぎ作業（1月～6月）		
3月	社会見学外出（松前）		ふれあい館の集い ノルディックウォーク
毎月	スタッフ会 ふれあい収集（ごみ排出困難者支援：毎週水曜日）		
その他	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受注窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有している。		

5. 相談支援事業所こすもす

5-1. 特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

（1）行動指針

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

（2）重点事項

- ①本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施
- ②地域課題の掘り起こし、関係機関との連携強化
- ③特定事業所加算の確保
- ④GSV研修への参加・実施

5-2. 一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

（1）行動指針

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

（2）重点事項

- ①地域移行支援会議への出席
- ②精神保健関係機関との連携
- ③週1回以上の対面を伴う訪問相談、情報提供、同行支援

5-3. 西予市委託相談支援事業

（1）行動指針

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

（2）重点事項

- ①障害者相談支援事業
- ②成年後見制度利用支援事業
- ③西予市自立支援協議会への意見上申
- ④基幹相談支援センター、地域生活支援拠点等の整備に向けた動き
- ⑤障害者虐待防止法及び障害者差別解消法に伴う合理的配慮の推進

5-4 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
特定相談支援事業、障害児相談支援事業 (西予市指定)	利用者の意向に沿ったサービス等利用計画の作成	・面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成を行ないました。 ・年間計画作成数：130件
	定期的なモニタリングと計画作成の更新	・個々に応じた定期的なモニタリングを行ない、サービスの軌道修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。 ・年間モニタリング作成数：338件
	障害児相談支援	・児童発達支援事業所、特別支援学校との連携を行ない、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行ないました。
	各事業所との連携(サビ管との連携)	・定期的に各事業所を訪れ、サビ管や担当職員と情報共有を行ないました。必要時にはカンファレンスも開催し問題解決に努めました。
	スキルアップ研修の参加	・愛媛県相談支援協会主催の専門コース別研修等への参加、加算確保の為の相談支援研修の参加も行ないました。
一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援) (愛媛県指定)	地域移行支援会議の参加	・八幡浜保健所から会議出席の依頼があり毎回出席、医療機関や保健師との情報共有に努めています。事例があれば受け入れ体制を整えています但し支援会議で決定者が挙がってこないこともあり平成29年度では対象利用者はありませんでした。
西予市委託相談支援事業	相談を通じた支援	・事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日などの電話相談にも対応できました。定期的な自宅訪問を行ない、現状把握に努めています。問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。 ・年間延利用者数：1208人 ・年間相談件数：2291件
	自立支援協議会への意見上申	・毎月、市役所にて西予市相談支援定例会を開催し、精神障害者社会復帰連絡会等から地域課題の抽出を行ない、自立支援協議会の議題を出してはいますが、本会が開催されていないのが現状です。

各市町と連携を取りながら、必要なサービス、希望するサービスを利用できるよう動いている。現在も担当利用者数が多いが、計画やモニタリングの件数をこなすことではなく、正確なアセスメントやモニタリング、その方に合った福祉サービスへ繋げられるよう支援に努めています。

5-5 実施事業

月	業務内容	OJT	OffJT
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う *計画立案、サービス担当者会議の開催 *状況に応じたモニタリングの実施 *関係機関との連絡調整 *制度についての理解を深める研修への参加 *自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	相談定期会議(1/週)	南予相談支援専門員連絡会 相談支援定例会
5月		国内研修(虐待防止法) 相談定期会議	相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会 相談支援初任者研修
6月		相談定期会議	相談支援定例会 関係機関連絡会 地域移行支援会議 初任者研修 相談支援従事者指導者養成研修
7月		国内研修(救命救急) 相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 精神保健連絡会 相談支援定例会 特別支援学校進路学習会
8月		相談定期会議	相談支援専門コース別研修 地域移行支援会議 精神保健連絡会 相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会 法人後見推進研修会
9月		国内研修(介護技術) 相談定期会議	特別支援学校進路学習会 相談支援定例会
10月		相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 相談支援定例会
11月		国内研修(感染症) 相談定期会議	精神障害者社会復帰連絡会 精神保健連絡会 相談支援定例会 高次脳機能障害研修
12月		相談定期会議	地域移行支援会議 相談支援定例会 特別支援学校進路学習会
1月		国内研修(虐待研修) 相談定期会議	南予相談支援専門員連絡会 たんぼぼ工房学習会 相談支援定例会
2月		相談定期会議	関係機関連絡会 精神保健連絡会 地域移行支援会議 高次脳機能障害研修 相談支援定例会 精神障害者社会復帰連絡会
3月		相談定期会議	相談支援定例会

*研修会等あれば、積極的に参加をし、自己研鑽を図りました。

5-6 利用者利用状況等

現在、相談支援事業所こすもすが担当している利用者数表。

地域					GH	育成園	学園	計
93					23	77	67	260
児童 7名	身体 7名	知的 45名	精神 29名	発達 重心 5名				

6. 指定障害者支援施設野村学園

(1) 行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

(2) 重点事項

①安心、安全で楽しく生きがいのある生活

個人の特性を理解するという共通認識のもと、利用者一人一人に応じた言葉かけや支援を行うことにより、安心して生活できる環境作りに取り組みました。また、日中活動では、園周辺や、園外の公園に出かけ季節を感じながら歩行を行いました。

他にも、ミュージック・ケアやダム周辺の清掃ボランティア活動等楽しく張り合いが持てる活動に取り組みました。安全な生活を送る為に、毎月危険箇所チェックを行い修繕を行いました。また、離園される利用者があるため、事故のないよう見守りに十分配慮しました。

②障害差別の解消

毎日勤務する職員の顔写真を掲示板に貼り、名前の読めない利用者にも目で見てわかるようにしました。また、選択メニューを写真で掲示し、利用者全員が指差しでも意思表示できるようにしました。おやつも利用者の希望を聞き、食べたいものを栄養士と利用者で協力して作り好評を得ました。公共交通機関の利用、市役所での住民票等取得の際にも、職員が付き添い手順を解りやすく説明しました。

③報告、連絡、相談の充実

朝礼では重要事項のみ報告すること、寮会・職員会ではレジメを早めに配布し、細かい内容について事前に寮内で話し合いを行う事により、スムーズで円滑な連絡・報告が出来るようになりました。会議時間の延長も無く、時間内で会議を終えることが出来ました。リーダーやサビ管に相談しやすい雰囲気作りにも努め、職員間での問題や悩み等が伝わりやすく、解消できるようになりました。職員数が多く、また会議録確認不足等で、全体の周知徹底が出来ていない時もありました。

④節約の取り組み

暖房においては、エアコンは出来る限り使用せず、安全面に十分に配慮してファンヒーターを使用し、電気代を節約しました。入浴のお湯を溜める時間や乾燥機を使用する時間を各寮時間差にして、一度に極端に電気使用料が上がらないように留意しました。

(3) 事業報告 1

①運動会・学園祭など家族との親睦を図る行事の充実

9月に親子ふれあいの日として運動会、10月に学園祭を開催しました。運動会は雨天のため、集会室にて学園の年間行事のDVD観賞を行い、学園祭ではやさしい音色であり癒し効果のあるオカリナ演奏会をメインイベントとし、大勢のご家族に楽しく参加していただきました。利用者・家族・職員が一体となり、親睦を図ることが出来たと思います。

②個別支援の向上

少人数での個別外出、利用者の得意分野に応じた地域行事やスポーツ大会等への参加など、個別支援の向上に努めました。

③サービス管理体制の充実

サービス管理責任者の知識・技術の向上をはじめ、職員全体の質の向上を目指して、全国レベルの研修会等に参加し、情報収集や動向の把握に努めました。研修会で学んできたことを園内研修等で取り入れ、サービス向上に向けて察毎の事例発表会を毎年恒例の取り組みとして定着することが出来ました。

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
利用者支援	個別支援の充実	・半年置きにカンファレンスを実施し、本人の思いをもとに、また家族の意向等踏まえて個別支援計画書を作成し、共通理解のもと計画書に沿って支援を行いました。個別外出等、個々のニーズに応じて楽しみのある生活を送っていただけるよう努めました。
	体力維持・向上	・日中活動に歩行運動を多く計画し、歩行距離を設定し数値化して、目標を持ったり意欲を高めたりできるよう努めました。
	衛生管理	・園内、寮内、居室の清掃・整理整頓に心がけ、また感染症対策等に常に留意して、清潔に気持ちよく過ごしていただきました。(基本)入浴支援は毎日行い、身体の清潔保持や異変等の早期発見に留意しています。
	生活支援の充実	・散髪、髭剃り、季節に応じた衣服の着用等、身なりを整えたり、また好みの衣服が着れるよう支援を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・食事やおやつに関して、管理栄養士と気軽に話が出来る環境作りを心がけ、日清との話し合いにて出来る範囲で、利用者の希望を取り入れながら、楽しみな食事・おやつの提供が来ています。
	身体拘束・虐待防止対策	・全職員「虐待防止チェック」を定期的に行い、また園内研修や外部研修会に参加し、身体拘束・虐待防止対策に取り組んでいます。
保護者・家族等の連携	保護者との連絡	・月1回程度は、担当より保護者に近況報告等、連絡を取るようになっています。また広報誌「あさぎりの鐘」を年に数回発行し、園の行事や様子を伝えています。
	保護者との意見交換	・保護者会定例役員会を年3回、総会・保護者会交流会(保護者間の意見交換会)を年1回行っています。保護者会交流会での意見・提言等をまとめて園に提出していただき、園から次年度の総会(4月)にて回答させていただいています。
	保護者との交流	・運動会や学園祭に多くの保護者に参加していただきました。今後も保護者の方と楽しく交流できる行事の内容・雨天時の場合等を十分に検討していく必要があります。
職員の資質	園内研修会の実施	・園内研修担当職員を決めて、年間計画に沿って園内研修会を実施しました。出来るだけ多くの職員が研修に参加できるよう、研修日・時間等に配慮しました。
	各研修会への参加	・年間の職員出張計画を作成し、計画的に県内外の研修会に参加しました。その他の研修会や地域で開催される研修会においては希望を募り、積極的に参加しています。
	エルダー制度の活用	・エルダー制度を導入し、チェックリスト等活用して新人育成を行いました。チェックリストの項目・内容等を他の職員も見たり改めて知ることによって、全職員のレベルアップを図ることができています。

地域連携	ボランティア活動	・日中活動の時間に、道路清掃や野村ダム周辺のごみ拾いを実施しました。
	朝霧湖マラソンのボランティア	・朝霧湖マラソン大会で、給水・ミストシャワーのボランティア活動を行い、利用者の方も沿道で応援を行いました。
	地域行事への参加	・地方祭、バラ大師大祭、地域のイベント、野村高校運動会等に参加し、地域の方と交流しました。
事業運営の向上	稼働率の安定化	・施設入所の稼働率は92%~98%、生活介護の稼働率は92%~99%を維持できています。
	加算が取れる体制	・重度障害者支援Ⅱ加算～強度行動障がい支援者養成研修修了者7名
	設備に対してのコストダウン	・全職員が節電に対する意識を持ち、デマンド対策に取り組み、コスト削減が出来ました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	・計画的に取得できるように調整し、職員のストレス軽減に取り組みました。

(5) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月	遠足 希望外出 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 (保護者会研修会) 広報誌発行
5月	利用者・職員健康診断 希望外出 朝霧湖マラソン大会 全国障害者スポーツ大会 南予福祉施設会 ソフトボール大会 火災避難訓練及び消火訓練	第1回園内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	南予福祉施設会 バレーボール大会 ソフトボール大会(県予選)当番施設 火災避難訓練及び消火訓練 希望外出	新任職員研修会 第1回施設長会 第2回園内研修会	広報誌発行
7月	夏祭り 夜市外出 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会(島根) 四国地区施設長会 第3回園内研修会 (普通救命救急講習)	第1回保護 者会役員会
8月	野村ダム花火見物 希望外出 お盆休み送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	青年部夏季研修会 四国地区職員研修会	
9月	運動会 希望別旅行 こまどり号歯科検診 火災避難訓練及び消火訓練	全国知的障害者福祉関係 職員研究大会(名古屋) 第4回園内研修会	広報誌発行

10月	学園祭 希望別旅行 福祉まつり 地方祭外出 ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第1回職員研修会 第5回国内研修会	
11月	マンダリンパイレーツ交流会 希望外出 職員特定健康診断 乙亥祭外出 火災避難訓練及び消火訓練 インフルエンザ予防接種	第2回施設長会 南予福祉施設会研修会	保護者会交流会
12月	クリスマス会、希望外出 大掃除 年末年始送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	第6回園内研修会 南予企画委員会 第2回職員研修会	広報誌発行
1月	初詣 希望外出 もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	青年部冬季研修会 県施設長会 障害者支援施設部会全国 大会(高知) 第7回園内研修会	第2回保護者会役員会
2月	希望外出 節分まめまき 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会 第8回園内研修会 (事例報告会)	広報誌発行
3月	遠足 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		第3回保護者会役員会
毎月行事	*職員会、各寮会 *総務委員会、自立支援衛生推進委員会、防災対策・事故防止委員会 日中活動委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、・エルダー委員会(年3回) 苦情解決虐待防止委員会(随時) 広報委員会(随時)		

(6) 利用者状況等

1. 入所利用者数 (単位:人)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
27年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
28年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
29年度	40	40	40	40	39	39	40	40	40	40	40	40

2. 利用者状況 (H30年3月末現在) (単位:人)

障害者支援施設	平均年齢		障害支援区分			
	男	女	区分1	区分2	区分3	区分4
40	22	18	0	0	0	4
			0	15	21	
平均支援区分			5.43			

(H30年3月末現在) (単位:人)

年齢別(歳)	20~29	30~39	40~49	50~54	55~59	60~64
男性利用者	3	3	12	3	1	0
女性利用者		2	10	5	0	1

3. 職員配置

(単位：人)

職種	管理者	事務員	管理栄養士	看護師	児童福祉司 児童相談員	サビ管	生活支援員	計	
								常勤	非常勤
職員数	1 (兼)	1	1	1	1	1	22	16	6

4. 保育実習生受け入れ状況

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
28年度	0	0	2	0	0	0	4	4	2	2	0	0
29年度	0	0	2	0	0	2	2	2	0	0	0	0

野村学園成人部拠点区分

○施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,135	94.6%	96.3%
5	1,240	1,175	94.8%	95.6%
6	1,200	1,128	94.0%	95.6%
7	1,240	1,175	94.8%	95.3%
8	1,209	1,144	92.3%	94.9%
9	1,170	1,136	94.7%	98.0%
10	1,240	1,202	96.9%	96.8%
11	1,200	1,182	98.5%	98.1%
12	1,240	1,170	94.4%	94.5%
1	1,240	1,125	90.7%	93.1%
2	1,120	1,090	97.3%	97.4%
3	1,240	1,143	92.2%	95.3%
合計	14,539	13,806	94.6%	95.9%

○生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	880	844	95.9%	97.4%
5	920	873	94.9%	94.9%
6	880	830	94.3%	96.1%
7	920	877	95.3%	96.3%
8	897	882	96.9%	98.6%
9	858	842	95.7%	98.6%
10	920	901	97.9%	97.2%
11	880	873	99.2%	98.9%
12	920	904	98.3%	99.1%
1	920	869	94.5%	97.7%
2	800	780	97.5%	97.6%
3	920	853	92.7%	96.1%
合計	10,715	10,328	96.0%	97.4%

入所者障害支援区分別

(H30年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
0	4	15	21	5.43

男性 22名

女性 18名

平均年齢 44.8歳

7. 障害児入所施設野村学園（第二障害者支援施設野村学園）

（1）行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

（2）重点事項

①安心、安全で楽しく生きがいのある生活

個人の特性を理解するという共通認識のもと、利用者一人一人に応じた言葉かけや支援を行うことにより、安心して生活できる環境作りに取り組みました。また、日中活動では、園周辺や、園外の公園に出かけ季節を感じながら歩行を行いました。

他にも、ミュージック・ケアやダム周辺の清掃ボランティア活動等楽しく張り合いが持てる活動に取り組みました。安全な生活を送る為に、毎月危険箇所チェックを行い修繕を行いました。また、離園される利用者がいるため、事故のないよう見守りに十分配慮しました。

②障害差別の解消

毎日勤務する職員の顔写真を掲示板に貼り、名前の読めない利用者にも目で見てわかるようにしました。また、選択メニューを写真で掲示し、利用者全員が指差しでも意思表示できるようにしました。おやつも利用者の希望を聞き、食べたいものを栄養士と利用者で協力して作り好評を得ました。公共交通機関の利用、市役所での住民票等取得の際にも、職員が付き添い手順を解りやすく説明しました。

③報告、連絡、相談の充実

朝礼では重要事項のみ報告すること、寮会・職員会ではレジメを早めに配布し、細かい内容について事前に寮内で話し合いを行う事により、スムーズで円滑な連絡・報告が出来るようになりました。会議時間の延長も無く、時間内で会議を終えることが出来ました。リーダーやサビ管に相談しやすい雰囲気作りにも努め、職員間での問題や悩み等が伝わりやすく、解消できるようになりました。職員数が多く、また会議録確認不足等で、全体の周知徹底が出来ていない時もありました。

④節約の取り組み

暖房においては、エアコンは出来る限り使用せず、安全面に十分に配慮してファンヒーターを使用し、電気代を節約しました。入浴のお湯を溜める時間や乾燥機を使用する時間を各寮時間差にして、一度に極端に電気量が上がらないように留意しました。

（3）事業報告 1

①運動会・学園祭など家族との親睦を図る行事の充実

9月に親子ふれあいの日として運動会、10月に学園祭を開催しました。運動会は雨天のため、集会室にて学園の年間行事のDVD観賞を行い、学園祭ではやさしい音色であり癒し効果のあるオカリナ演奏会をメインイベントとし、大勢のご家族に楽しく参加していただきました。利用者・家族・職員が一体となり、親睦を図ることが出来たと思います。

②個別支援の向上

少人数での個別外出、利用者の得意分野に応じた地域行事やスポーツ大会等への参加など、個別支援の向上に努めました。

③サービス管理体制の充実

サービス管理責任者の知識・技術の向上をはじめ、職員全体の質の向上を目指して、全国レベルの研修会等に参加し、情報収集や動向の把握に努めました。研修会で学んできたことを園内研修等で取り入れ、サービス向上に向けて寮毎の事例発表会を毎年恒例の取り組みとして定着することが出来ました。

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
利用者支援	個別支援の充実	個別外出や調理実習等を定期的実施し楽しみのある生活を送っていただけるように努めました。本人・家族の想いを汲みこんだ個別支援計画書を作成し、支援を行いました。
	休日の学童支援	長期休暇の日中一時の利用者増加により、学童支援があまり実施できませんでした。
	体力維持・向上	日中活動に歩行運動を多く取り入れ体力作りに取り組みました。
	衛生管理	寮外出、感染症流行時期以外は毎日入浴し、清潔に過ごすことが出来ました。
	生活支援の充実	副担当制を導入し、男女が協力して生活支援を実施することが出来ました。取り組み回数にはばらつきがありました。
	美味しい食事の提供	選択メニューやバイキングなど美味しく楽しい食事の提供が出来ました。
	虐待防止・身体拘束防止対策	職員に対する虐待チェックを定期的実施し、園内研修でも虐待防止に取り組みました。
保護者・家族等の連携	保護者との連絡	月1回保護者に連絡を取っています。また、広報誌を年4回発行して園の様子を伝えました。
	保護者との意見交換	保護者会交流会で出た施設への意見に対して解答書を作成し報告しました。
	保護者との交流	運動会、学園祭、夏祭り等保護者と交流できる行事を実施しました。
職員の資質	園内研修会の実施	年間計画に沿って研修会を実施することが出来ました。
	エルダー（新人教育）の導入	エルダー制を導入し、新人教育を行いました。
	各研修会参加	地域で開催される研修会の情報を職員全員に提供し、希望の研修会に参加してもらいました。
地域連携	ボランティア活動実施	日中活動の時間に、道路清掃やゴミ拾いを実施しました。
	朝霧湖マラソンボランティア	朝霧湖マラソン大会で、給水・ミストシャワーのボランティア活動を行い、利用者の方も沿道で応援を行いました。
	地域行事への参加	地方祭、地域のイベント（あさぎり湖マラソン・参加応援）・ボランティアあさぎりのイベント参加し交流しました。
事業運営の向上	稼働率の安定化	年間通して定員満床を維持できており、稼働率は高い数字を維持できました。
	設備に対してのコストダウン	全職員が節電に対する意識を持ち、デマンド対策に取り組みました。
	リフレッシュ休暇の計画的取得	計画的に取得できるように調整し、職員のストレス軽減に取り組みました。

(5) 行事報告 3 (障害児入所施設野村学園・第二障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	遠足 希望外出 利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修	保護者会総会 保護者会研修会 広報誌発行
5月	利用者・職員健康診断 希望外出 朝霧湖マラソン大会 (参加・応援) 火災避難訓練及び消火訓練 全国障害者スポーツ大会 南予福祉施設会ソフトボール大会	第1回園内研修会	大瀬中学校 交流会
6月	平成病院往診 希望外出 南予福祉施設会バレーボール大会 ソフトボール大会 (県予選) 当番施設 火災避難訓練及び消火訓練	新任職員研修会 第1回施設長会 第2回園内研修会	広報誌発行
7月	夏祭り 夜市外出 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	中国・四国地区知的障害 関係職員研究協議会 (島根) 四国地区施設長会 全国知的障害関係施設長 等会議 (東京) 第3回園内研修会 (普通救命講習)	保護者会 役員会 (第1回)
8月	野村ダム花火見物 希望外出 お盆休み送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	青年部夏季研修会 四国地区職員研修会	あさぎり スクール
9月	希望別旅行 希望外出 こまどり号歯科検診 運動会 火災避難訓練及び消火訓練	全国知的障害者福祉関係 職員研究大会 (名古屋) 第4回園内研修会	広報誌発行
10月	学園祭 地方祭外出 希望別旅行 福祉祭り ゆうあいスポーツ四国大会 火災避難訓練及び消火訓練	第1回職員研修会 第5回園内研修会	
11月	マンダリンバイレーツ交流会 職員特定健康診断 乙亥外出、希望外出 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練	第2回施設長会 南予福祉施設会研修会	保護者会 交流会
12月	クリスマス会 大掃除、希望外出 平成病院往診 年末年始送迎サービス 火災避難訓練及び消火訓練	第6回園内研修会 南予企画委員会 第2回職員研修会	広報誌発行 あさぎりク リスマス会
1月	初詣 もちつき大会 希望外出 火災避難訓練及び消火訓練	青年部冬季研修会 県施設長会 第7回園内研修会 障害者支援施設部会全国 大会 (高知)	保護者会第 2回役員会
2月	希望外出 節分豆まき 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会 第8回園内研修会 (事例報告会)	広報誌発行
3月	遠足、希望外出 火災避難訓練及び消火訓練		保護者会第 3回役員会
毎月 行事	※喫茶コーナー (月3~4回) ※職員会、各寮会 ※総務委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会 (年3回) 広報委員会 (随時) 苦情解決虐待防止委員会 (随時)		

(6) 利用者状況等

1. 入所利用者数 (単位：人)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
27年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
28年度	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39
29年度	39	39	39	40	40	40	40	41	41	41	41	41

2. 利用者状況 (単位：人)

第二障害者支援施設	平均年齢		障害支援区分			
		32	区分1	0	区分4	3
実人員	男	21	区分2	0	区分5	10
	女	7	区分3	0	区分6	15
平均支援区分			5			

障害児入所施設	平均年齢	14.1
	実人員	13

(単位：人)

年齢別(歳)	0～6	7～12	13～15	16～18	19	20～29	30～39	40～45
男性利用者	0	3	3	3	2	9	7	4
女性利用者	0	0	2	0	1	1	5	1

3. 職員配置 (単位：人)

職種	管理者	事務員	管理栄養士	看護師	サビ管	児童指導員	生活支援員	計	
								常勤	非常勤
職員数	1(兼)	1	1	1	1	20	5	19	6

4. 保育実習生受け入れ状況

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
28年度	0	0	2	0	0	0	4	4	2	2	0	0
29年度	0	0	2	0	0	2	2	2	0	0	0	0

野村学園児童部拠点区分 第二障害者支援施設

○施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	810	805	99.4%	96.4%
5	837	822	98.2%	98.7%
6	810	799	98.6%	99.9%
7	837	834	99.6%	99.1%
8	837	795	95.0%	94.1%
9	810	797	98.4%	99.7%
10	837	824	98.4%	99.5%
11	810	809	99.9%	98.8%
12	868	835	96.2%	96.2%
1	868	819	94.4%	94.9%
2	784	782	99.7%	99.9%
3	868	864	99.5%	94.4%
合計	9,976	9,785	98.1%	97.6%

○生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	594	590	99.3%	96.5%
5	621	605	97.4%	97.7%
6	594	585	98.5%	99.7%
7	621	620	99.8%	98.7%
8	621	609	98.1%	97.1%
9	594	584	98.3%	99.5%
10	621	612	98.6%	99.4%
11	594	593	99.8%	98.8%
12	644	641	99.5%	99.5%
1	644	632	98.1%	98.1%
2	560	557	99.5%	100.0%
3	644	642	99.7%	94.3%
合計	7,352	7,270	98.9%	98.3%

入所者障害支援区分別 (H29年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
0	3	10	15	5.43

男性 21名 女性 7名 平均年齢 32歳

野村学園児童部拠点区分 障害児入所施設

○障害児入所施設利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	360	360	100.0%	100.0%
5	372	372	100.0%	100.0%
6	360	360	100.0%	100.0%
7	403	375	93.1%	100.0%
8	403	403	100.0%	100.0%
9	390	390	100.0%	100.0%
10	403	403	100.0%	100.0%
11	420	414	98.6%	100.0%
12	403	400	99.3%	100.0%
1	403	399	99.0%	100.0%
2	364	364	100.0%	100.0%
3	403	398	98.8%	96.0%
合計	4,684	4,638	99.1%	99.7%

男性 10名 女性 3名 平均年齢 14.1歳

8. 放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

(1) 行動指針

- ①利用者の尊厳を大切にします
- ②家族との絆を深めます
- ③職員は夢を持ち笑顔で邁進します
- ④安心して暮らせる地域社会を築きます
- ⑤法令を遵守します

(2) 重点事項

①健全育成が図れる支援

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対して、事業所を利用し適切な遊びやその他の活動及び生活の場を与えて、安心安全で健全な育成を図る取り組みをしました。事業所に意見箱を設置し保護者からの意見を適切に解決できるようにしました。保護者が安心・安全に利用できるように、預かり時間の延長も実施しました。手作りおやつを提供したり、おやつの買い出し等利用者と職員で行い、食育への関心や生活力を高める取り組みを行いました。

②発達に応じた安心、安全な支援

保育依頼表を元に迎えの保護者の確認を行い、安全に利用者を引き渡せるようにしました。

毎日連絡帳を通して、家庭や学校での様子を把握し、家族との報告、連絡、相談を行い、また迎え時にキッズ内での児童の様子等を伝えるようにしました。新1年生が春休み中に利用する際には、受け入れと迎え時に職員を1名増員して対応しました。

③個々の人格を尊重

高額なものではなく、空き箱や、広告紙、弁当のプラスチックの蓋など、身近なものを多種多様に準備し、個々の興味や関心に沿って遊べるよう配慮しました。学年に応じた工夫、発想を持って子ども同士協力することを目的とし、遊びの面白さを繋げられました。

④報告、連絡、相談の充実

保育依頼表を元に、迎えの保護者の確認を行い安全に引き渡せるようにしました。

保育依頼表が提出されていない保護者に対しては、電話連絡し確認を必ず行いました。

職員間の報告・連絡等は、のむら・しろかわ合同での職員会で周知徹底を図りました。

(3) 事業報告 1

①サービス体制の充実

児童支援員としての知識や技術、質の向上を目指し、研修に参加しました。子どもたちが遊びの幅を広げられるように施設内（図書館・児童館）や運動場を利用しました。

季節に応じた活動（川遊び・夏祭り）等も取り入れ活動できました。新1年生が春休み中に利用する際には、受け入れと迎え時に職員を1名増員して対応しました。

②個別支援の向上

障害をもった児童には、支援員が1名付いて見守り、支援を行いました。

③のむら・しろかわキッズ事業サービスの均一化

月に一度、のむらキッズ・しろかわキッズ合同の職員会を行い、学園内の事務局を中心に、報告・連絡等の周知徹底を行い、事業サービスの均一化を図りました。

(4) 事業報告 2

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
利用者支援	利用者の意向に沿った対応	児童の一人ひとりの思いを受容、傾聴、共感の姿勢を持って受け止めるよう努め、接する事ができました。
	安全・衛生	安全・健康・衛生面を確保し安定した生活が送れるように配慮しました。
	学校との連絡調整	児童の様子等の情報交換や、学校行事に応じた施設開所時間設定を行いました。
	個々の人格尊重	学童の人権・人格に十分に配慮、尊重すると共に会議等で情報交換に努めました。
	満足度アンケート調査	施設に対する意見や要望を聞く事ができました。
	活動内容	行事を通してキッズ児童や学童利用者との交流、西予市内の学童保育児童との交流を行ないました。また、図書館・児童館等施設を活用したり、戸外での遊びや行事、その他の活動を通して豊かな生活が送れました。
保護者・家族との連携	家族との連絡の徹底	家族が来所された時に児童の様子を伝え、また家庭での様子等の情報交換に努める事ができました。
	満足度アンケート調査	施設に対する意見や要望を聞く事ができました。
	キッズでの生活の情報提供	キッズ便りや行事毎の写真掲載を行い活動の様子を発信しました。
職員の資質	児童・保護者との関わり	児童と関わりながら経験を豊かにできる取り組みや、子ども自身が主体的に過ごせるように援助しました。保育内容の充実のために、保育者からの願いや意見を反映し、協力・連携して育成支援を行うと共に信頼関係の確立に努めました。
	指導員のスキルアップ	放課後児童支援員資格向上研修や、児童指導員認定資格研修を受けました。障がい児について理解を深め、健常児とのより良い環境作りができるように努めました。
地域連携	放課後児童健全育成事業の役割	保護者が労働等により昼間家庭にいない利用者に、授業の終了後に施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、健全な育成を図っていきました。保護者が安心して子どもを育て、子育てと仕事等を両立できるように支援を行いました。
法令遵守	職場倫理を自覚して職務に当たる	子どもや保護者の人権に十分配慮するとともに、一人ひとりの人格を尊重するように努めました。守秘義務・個人情報適切に扱い、プライバシーを保護し事業の社会的責任や公共性を自覚できるように努めました。

(5) 行事報告 3 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	誕生会、避難訓練		
5月	誕生会、避難訓練	学童フェスタ準備会	保護者会総会
6月	誕生会、避難訓練 消防署員による水難救助等講話		
7月	誕生会、避難訓練 プール(夏季休業中)	学童フェスタ準備会	プール監視
8月	誕生会、避難訓練、プール(夏季休業中) 夏祭り(野村学園・両キッズとの交流) 溪筋川遊び、四電エネルギー授業	学童フェスタ参加	プール監視 奉仕作業①

9月	誕生会 避難訓練 手づくりおやつ	学童フェスタ反省会 放課後児童支援員認定資格 研修会	
10月	児童館こどもまつり 誕生会、避難訓練		
11月	誕生会、避難訓練、乙亥祭り		
12月	クリスマス会 誕生会、避難訓練、大掃除		
1月	誕生会、避難訓練	放課後児童支援員等資質向上 研修会、地区別研修交流会	
2月	誕生会、避難訓練 手作りおやつ		新入児学 童保育募 集説明会
3月	誕生会、避難訓練		保護者会 奉仕作業②

(5) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	誕生会、避難訓練		
5月	誕生会・避難訓練	学童フェスタ準備会	保護者会総会
6月	誕生会、避難訓練 消防署員による水難救助等講話		
7月	誕生会、避難訓練 プール (夏季休業中)	学童フェスタ準備会	プール監視
8月	誕生会、避難訓練、プール (夏季休業中) 夏祭り (野村学園・両キッズとの交流) 溪筋川遊び、四電エネルギー授業	学童フェスタ参加	プール監視 奉仕作業①
9月	誕生会、避難訓練 手作りおやつ	学童フェスタ反省会 放課後児童支援員認定資格 研修会	
10月	誕生会、避難訓練		
11月	誕生会、避難訓練		
12月	クリスマス会、誕生会、避難訓練 大掃除		
1月	誕生会、避難訓練	放課後児童支援員等資質向上 研修会、地区別研修交流会	
2月	誕生会、避難訓練		新入児学 童保育募 集説明会
3月	手作りおやつ 誕生会、避難訓練		保護者会 奉仕作業②

(6) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28年度	975	819	862	915	883	923	916	833	833	806	827	929
29年度	953	871	913	934	902	865	858	763	767	725	698	819

合計

28年度 10,521

29年度 10,068

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
28年	男児	11	8	5	2	0	2	28
	女児	8	6	6	6	4	2	32
	合計	19	14	11	8	4	4	60
29年	男児	13	12	7	4	1	0	37
	女児	8	4	6	5	1	1	25
	合計	21	16	13	9	2	1	62

3、職員配置

職種	管理者	事務員	児童指導
職員数	1 (兼)	1	12

しろかわキッズ

1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28年度	144	107	140	169	218	125	144	145	143	118	143	239
29年度	233	203	133	204	265	148	162	154	147	98	114	152

合計

28年度 1,835

29年度 2,013

2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
28年	男児	1	1	1	4	0	0	7
	女児	3	4	1	0	2	0	10
	合計	4	5	2	4	2	0	17
29年	男児	4	1	1	1	3	0	10
	女児	3	3	3	1	1	1	12
	合計	7	4	4	2	4	1	22

3、職員配置

職種	管理者	事務員	児童指導
職員数	1 (兼)	1	12

XIII事業所別事業報告

【高齢者福祉部会】

地域福祉のニーズが多様化、高度化している中で、当法人として高齢者福祉に対応できるよう法人内事業所だけでなく、地域の事業所とも連携を図り、施設利用者や地域住民の生活を支援することを目指した取り組みを行いました。

1) 介護技術の普及・後継者の育成について

・昨年度からの課題であった、介護技術伝達講習会参加職員のレベルを確認する仕組み作りについては、個人スキル確認表を作成し、項目別のスキルをグラフ化することができました。介護技術の習得レベルを見える化したことで、職員育成のツールとして活用していきます。

2) 専門職員（介護職、ケアマネ・栄養士・看護師、生活相談員）の業務内容の統一について

・高齢者福祉部会の枠を超えて法人内での開催となっている小部会もありますが、必要に応じて引き続き各小部会と連携を取りながら、業務内容の統一を進める必要があります。

3) 施設の整備について

・経年劣化した車輛の買換えを計画的に行えましたが、各施設とも十分な状況とは言えず、引き続き計画的な取り組みが必要です。

・防犯対策として、各施設とも施設内外に防犯カメラを設置し、防犯機能の強化を図りました。

4) 介護教室について

・地域の方が気軽に参加できる介護教室、学生を対象にした介護体験等を開催することができました。

・介護教室および介護体験等は、地域ニーズを把握する場であり、施設が持っている専門性を地域に活かせる場でもあるので、今後も介護に関する幅広い教室として開催に努めます。

5) 地域貢献事業について

・様々な機会を通じて地域のニーズを把握し、法人全体だけでなく施設単位でも地域貢献事業への取り組みを行っております。人員確保が難しいとの課題も見えてきましたが、事業の拡張だけでなく、内容の充実が図れるよう今後検討していきます。

6) 福祉サービス第三者評価の見直しと相互評価について

・昨年度で全ての施設の評価が完了し、今年度は各施設で評価結果に基づく自己点検や改善を行いました。また、次回受審までの中間評価として、施設間での相互評価を来年度実施する方向で現在協議を行っています。

1. 特別養護老人ホーム法正園

(1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

①人権の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、安心できる生活環境を創出します。

②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

(2) 重点事項

①帰属意識の醸成と組織力の強化

毎月の職員会において法人理念の一斉唱和を継続して行いました。

また、職員会において毎月施設長が講話を行い、職員としてのマナーや考え方等を伝えました。

②安定的な事業経営

安定的な事業経営を行うために、経口維持加算の実施に向けた体制作りを行いました。29年4月より経口維持加算を実施しています。

安定的な事業経営のために重要な職員の配置については、介護職員1人当たり、1.75人の入居者となり、ユニット型施設の全国平均1.64人に比べて、入居者数が若干多めとなっています。

③人材育成と働きやすい職場環境作り

上司と部下が協力して職場の目標を達成し、さらに個人の成長を促すための成長支援制度を理解し、運用に際して勉強しました。

フリー職員の配置により、突発的な職員の病気等に対応できるようにしました。又、リフレッシュ休暇の取得率を上げ、心身のリフレッシュを図りました。

④ケアの統一化と質の向上

サービスの質を高めるために、介護マイスター研修や伝達講習を実施して、質の向上に努めました。しかし、まだ全体の底上げには至っていないのが現状です。これからも、サービスの向上を目指して取り組んでいきます。

⑤業務活動に関わるリスクマネジメント体制の強化

事故等に関わる対処マニュアルを作成し、緊急時の体制を整えました。早期の対応をするために、今後もより良いマニュアルの更新をしていきます。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの 質の確保	利用者様の意向に沿ったケアの実施	・定期的なカンファレンスを実施し、意向の確認を行いハッピープランに盛り込みました。 ・顧客満足度調査を実施しました。
	家族との交流	・お花見、納涼祭、大掃除など、家族と交流できるような行事を行いました。また、里帰りを実施し自宅や家族宅で楽しい時間を過ごして頂きました。
	食事の充実	・毎月ユニット会と食事委員会、給食委員会で検討し、介護の充実に努めました。 ・毎月ユニットごとの食事会、ユニットで食事を作るユニット炊飯、季節ごとの行事食、おやつ作り等を行い、美味しく楽しめる食事の提供に努めました。
	健康管理とメンタルヘルスへの取組	・定期健康診断、ストレスチェックの実施により職員・利用者の健康管理に努めました。 ・異常の早期発見、早期対応に心掛けた結果入院者数も前年比13件減少し、感染症発症時も拡大には至りませんでした。
	介護事故の予防と対策	・ヒヤリハットや事故報告書等をユニット、委員会等で検証し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。
	法人内施設間での相互評価の実施	・第三者評価の結果について、法人施設単位で比較検討を行いました。各施設、自施設の対応で他施設の評価までにはできませんでした。
	介護サービスの標準化	・介護マイスターの取り組みで、介護技術の標準化を図り、マニュアル類の見直しを行い、サービスの標準化を図りました。今後も継続して行う必要があります。
	業務内容の見直しと改善	・入居者や家族に満足度調査を実施し、頂いた評価や意見について検討し改善を行いました。また、結果について法人のホームページで公開し、施設サービスの透明性に努めました。
施設設備の 充実	感染症・食中毒の 予防と対策	・感染症予防に努めましたが、1月と3月に園内でインフルエンザの感染がありました。最小限に抑える事ができました。
	東ユニット屋根の 修理	・東ユニット居室外側より雨漏りがあったため、部分的に屋根の修理を行いました。残りは、H30年度の計画で行います。
地域との 連携	施設内LED工事	・施設内照明のLED工事を行い、省電力化を図りました。
	避難訓練への参加	・夜間災害避難訓練時に、災害協定を締結している地区の住民にも訓練に参加していただきました。
	子どもたちとの交流会	・保育所園児、中学生、高校生たちが来園して頂き、交流会を行うことができました。
	行事による交流	・地方祭や地域のイベントに参加し、地域の方と交流したり、夕涼み会に近隣地域の方に来ていただきました。また、各行事に演芸等を披露していただき交流することができました。
	なごみホールの活用	毎週土曜日、児童が通う踊り教室の練習場としてなごみホールを貸し出しています。施設の行事等に踊りを披露していただき、利用者との交流を深めています。
	ボランティアの受け入れ	・定期的に来られる地域ボランティアグループや、小・中・高校生等の夏休みボランティアの受け入れを行いました。
介護マイスターの 取り組み	情報公開	・年3回広報誌を発行し、内1回は近隣地域に配布しました。また、ホームページでも施設の様子を随時発信しました。
	介護マイスターの 取り組み	・園内介護マイスター(介護技術講習)を、高齢者福祉部会介護技術伝達講習会参加者の指導で月2回(対象者がどちらかに参加)を行いました。
	人権尊重やコンプライアンス意識を 高める指導	・園内研修において、コンプライアンスに関する動画を鑑賞し、虐待防止や苦情、個人情報とプライバシーについて研修を行いました。

職員の質の向上	計画的な防災訓練の実施	・西予市老協の防災訓練で被災事業所を惣川高齢者生活福祉センターに設定し、西予市の老人施設8施設が訓練に参加して訓練を実施しました。
	内部研修会の実施	・毎月、計画的に研修会を行うことができました。口腔ケアやユニットケア、感染症、褥瘡について外部から講師を招いて研修を行いました。
	エルダー制(新人育成)の活用	・エルダー制を活用し新任職員の育成を行いました。
経営基盤の強化	稼働率の向上と事業コストの削減	・入院される方や退所される方が多かったが、病院との連携やスムーズに入所していただくことで、昨年度より稼働率が少し向上しました。(96.7%)
	経口維持加算の算定	・H29年度から経口維持加算を取り始め、利用者の口腔ケアの定着化や外部講師を招いての研修、協力歯科医との連携体制も整えました。
働きやすい職場環境づくり	ES向上への取組	・業務の見直しをしてリフレッシュ休暇の取得率アップに繋がりました。
	職員間の交流	・互助会等で、定期的な交流行事を行い職員同士の親睦を図りました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		仕事の心構 高齢者の理解について	西予市老協総会 南予老協総会 県老協総会
5月	お花見会 健康診断 西予老協協合同遠足	看取り研修 口腔ケア施設視察	家族会役員会・総会 県老人福祉施設大会 広報誌発行第237号
6月	保育所交流会	H28年度経営報告 H29年度経営目標発表 感染症対策・食中毒 予防研修	
7月	そうめん流し	介護技術・器具研修 (褥瘡)	
8月	夕涼み会	救急救命講習	夏休みチャレンジボランティア受入 第1回西予市社会福祉法人連絡会
9月	秋の法要	虐待防止研修 法人アンガーマネジ メントについて	広報誌発行第238号 西予市老協職員交流会
10月	地方祭外出 野村高校就業体験 西予市老協協演芸大会	事故再発防止研修	顧客満足度調査
11月	乙亥外出 健康診断 野村中学生交流	感染症(ノロウイルス) 対策 法人実践発表会	南予介護の日イベント チャリティレクバレー大会参加 第2回西予市社会福祉法人連絡会
12月	クリスマス会 家族会大掃除	事故発生防止研修 虐待防止	シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練
1月	お年とり 初詣外出	身体拘束防止研修	広報誌発行第239号
2月	節分豆まき	今年度運営状況発表	

3月	ひな祭り 春の法要	認知症研修	西予市老協施設長相談員会 南予老協第2回総会 県老協第2回総会 第3回西予市社会福祉法人連絡会
毎月	各エッセイ食事会(誕生会)、にこにこマーケット、職員会、運営委員会、F-ダナー会、各エッセイ会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、トピス、業務改革)、高齢者部会等各法人委員会 介護マイスター、介護技術伝達講習会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(水・金)、エッセイ炊飯(毎週木曜日)		
随時	避難訓練、地域行事外出、交流会、里帰り、内部研修会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練(月・水・金)		

(5) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,441	96.1%	99.2%
5	1,550	1,476	95.2%	95.8%
6	1,500	1,416	94.4%	98.7%
7	1,550	1,539	99.3%	95.8%
8	1,550	1,546	99.7%	95.4%
9	1,500	1,444	96.3%	94.6%
10	1,550	1,530	98.7%	93.7%
11	1,500	1,461	97.4%	96.7%
12	1,550	1,497	96.6%	95.9%
1	1,550	1,446	93.3%	95.7%
2	1,400	1,317	94.1%	96.8%
3	1,550	1,544	99.6%	96.7%
合計	18,250	17,657	96.7%	96.2%

利用者要介護度別

(H30年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	2	5	17	26

平均介護度 4.34
 男性 10名 女性 40名
 平均年齢 86.4歳

2. 短期入所生活介護事業所法正園

(1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

(2) 重点事項

①顧客満足度の向上

利用者及び家族に満足度調査を実施、サービスの見直しや改善を行いました。出来るだけ利用者、家族の要望に応えられるよう連絡を取り合いました。ショートを利用される前日には利用者の状態確認の電話を行い、送迎時間や体調を確認しより良い対応ができるようご家族との信頼関係を図っています。

②安定的な事業経営

居宅介護支援事業所と連携し、利用日の調整を行いました。インフルエンザの感染が発生した為、2月3月の稼働率が下がっています。

③接遇マナーの向上

言葉使いや明るい挨拶を各職員が気をつけて気持ちの良い職場環境に努めました。顧客満足度調査では、利用者家族より挨拶や対応について高評価を頂きました。

④サービスの質の管理

顧客満足度調査の結果を分析し又、家庭への送迎時や電話対応時に利用者・家族とコミュニケーションを取りながら、サービスの質を上げるよう取り組みました。職員も介護マイスター研修や伝達講習を実施し質の向上に努めています。

⑤業務活動に関わるリスクマネジメント

事故等に関わる対処マニュアルを作成し緊急時の体制を整えました。事故が発生した場合も、早期対応を行い周知徹底を行っています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	顧客満足度の向上	・利用者と家族に顧客満足度調査を実施し評価の確認を行いました。高評価を頂きましたが少ない意見にも注目し再度振り返り、検討し改善していきました。
	サービスの質の向上	・利用者の家庭での過ごし方など細かな情報をユニットで共有し、一人ひとりの利用者が穏やかに、気持ち良く過ごすことができるように、居室のレイアウトを出来るだけ家庭に近づける工夫をしました。
	接遇マナーの向上	・新人教育にエルダー制を用い、業務やマナー等の細かい指導を行いました。エルダーは責任を持って新人を育てるよう心がけております。
	サービスの質の管理	・利用者と家族に顧客満足度調査を実施しました。高評価を頂きました。少数の意見も大切に、利用者に対しての尊厳を心掛けました。
	個別短期入所計画に基づく個別処遇実施	・利用者を受け入れるユニットに、事前に情報提供を行い利用者にあった対応をユニット職員全員に周知徹底しました。
	業務活動に関わるリスクマネジメント	・事故等に関わる対処マニュアルを作成し緊急時の体制を整えました。事故が発生した場合も、早期対応を行い周知徹底を行っています。
	感染症・食中毒の予防と対策	・出退勤の手洗い、うがい、マスク着用を行っていましたが、2月に園内でインフルエンザが感染しました。感染拡大を避けショート受け入れを中止しました。
	居宅介護支援事業者との連携	・社協が運営しているソフト「キントーン」を活用し情報を共有しています。 ・月1回の介護保険事業所連絡会等に参加し情報交換を行いました。 ・利用者の担当者会議において、情報の共有とサービスの改善を行っています。
	計画的な防災訓練の実施	・避難訓練を年2回実施し、夜間避難訓練には災害協定を締結している地区の住民に訓練に参加して頂きました。
経営基盤の強化	安定的な事業経営	・空床情報については「キントーン」を利用して情報発信しています。 ・2、3月はインフルエンザ感染者発生を家族に連絡し被害の拡大を避けるため受け入れの中止しました。
	空床を発生させない為の利用日調整と新規利用者の確保	・居宅ケアマネと連携し、利用が可能となるよう調整しています。 ・介護保険事業所連絡会等で、施設のサービス状況等を説明して、新規利用者の案内に努めましたが、他施設と比べ利用料の負担が高い為、利用者の増加には繋がりませんでした。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		仕事の心構 高齢者の理解について	西予市老協総会 南予老協総会 県老協総会
5月	お花見会 健康診断 西予老協合同遠足	看取り研修 口腔ケア施設視察	家族会役員会・総会 県老人福祉施設大会 広報誌発行第237号
6月	保育所交流会	H28年度経営報告 H29年度経営目標発表 感染症対策・食中毒 予防研修	
7月	そうめん流し	介護技術・器具研修 (褥瘡)	
8月	夕涼み会	救急救命講習	夏休みチャレンジボランティア受入 第1回西予市社会福祉法人連絡会
9月	秋の法要	虐待防止研修 法人アンガーマネジ メントについて	広報誌発行第238号 西予市老協職員交流会
10月	地方祭外出 野村高校就業体験 西予市老協協演芸大会	事故再発防止研修	顧客満足度調査
11月	乙亥外出 健康診断 野村中学生交流	感染症(ノロウイルス) 対策 法人実践発表会	南予介護の日イベント チャリティレクバレー大会参加 第2回西予市社会福祉法人連絡会
12月	クリスマス会 家族会大掃除	事故発生防止研修 虐待防止	シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練
1月	お年とり 初詣外出	身体拘束防止研修	広報誌発行第239号
2月	節分豆まき	今年度運営状況発表	
3月	ひな祭り 春の法要	認知症研修	西予市老協施設長相談員会 南予老協第2回総会 県老協第2回総会 第3回西予市社会福祉法人連絡会
毎月	各ユニット食事会(誕生会)、にこにこマート(12月まで)、職員会、運営委員会、1-9サークル会、食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、OJT委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、ナース、業務改革)、高齢者部会等各法人委員会 介護マイスター、介護技術伝達講習会 各ユニット会		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、入所検討委員会(4、7、10、1月) 合同職員会(2ヶ月毎)、ユニット炊飯(毎週木曜日) 食事会(誕生会)		
随時	避難訓練、交流会、内部研修会、法人研修会、成長支援制度説明		
毎日	口腔体操(毎日) 機能訓練(月、水、金)		

(5) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	93	77.5%	92.5%
5	124	126	101.6%	88.7%
6	120	109	90.8%	81.7%
7	124	95	76.6%	102.4%
8	124	110	88.7%	137.9%
9	120	123	102.5%	109.2%
10	124	110	88.7%	113.7%
11	120	101	84.2%	113.3%
12	124	113	91.1%	125.8%
1	124	112	90.3%	121.0%
2	116	98	84.5%	99.1%
3	124	69	55.6%	88.7%
合計	1,464	1,259	86.0%	106.2%

利用定員 4名
平均介護度 3.14

3. デイサービスセンターふれあい事業報告

(1) 行動指針

利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努め、利用者との信頼関係を基礎とした人間関係の確立を図り、利用者の主体性の尊重とその家族との交流を目指します。

(2) 重点事項

①サービスの充実

利用者の意向及び介護状態を考慮しつ、生活に張り合いを見いだす為のレクリエーション体操、ゲーム、音楽、外出等の取り組みを積極的に行いニーズに合ったサービスを提供しました。

②リスクマネジメントの充実

利用者に安全なサービスを提供できる環境づくりに努め、ヒヤリハットや事故報告書を活用し、事故予防、再発防止に努めました。

③利用者満足度の向上

顧客満足度調査を基にサービスの見直しや改善を行いました。これからも、現状に満足することなく、サービスの向上を目指して取り組んでいきます。

④経営基盤の安定

稼働率80パーセント以上を目標に在宅高齢者の利用を促進するとともに、多様なニーズに対応できるよう、柔軟な体制を図っていきました。80パーセントには満たなかったが前年度より稼働率が上がりました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取組報告
ニーズに対応したサービス提供と向上	家族、利用者の意向に沿ったサービスの提供	・顧客満足度調査を実施し、意向の確認を行いました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・嗜好品を確認し、満足される食事の提供を行いました。 ・卓上で、ご飯をよそい視覚・嗅覚で楽しんで頂きました。(炭火にて焼き鯖、焼き肉作り、卓上で焼きそば、焼き鳥作り、その他干し柿作り等)
	感染症の予防	・インフルエンザ保菌者が来所されたが、毎日の消毒や隔離等により、他利用者への感染は予防できました。
	季節に応じた外出	・花見、野村ダムこいのぼり見学、紅葉狩り、初詣に行き、季節感を感じて頂きました。
	機能訓練の充実	・在宅生活が安定するよう、希望者に機能訓練を実施しました。また実施報告も行いました。(事業所実践発表会にて成果発表)
	認知症ケアの充実	・認知症ケアを充実する為に、他施設研修・各研修に参加しスキルアップを図りました。認知症介護実践者研修に申込みするが参加できませんでした。
	リスクマネジメントの充実	・ヒヤリハットや事故報告書等をユニット、委員会等で検討し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。

職員の資質向上と人材育成	内部研修会の実施	・毎月、研修会を行う事ができました。
	介護力向上研修会	・毎月、職員1名が介護技術伝達講習会に参加しました。デイ内での技術伝達は、あまりできませんでした。利用者の増加、送迎車輛の増加に伴い後期は参加できなかった。
	認知症ケア研修	・県、南予老協主催の認知症ケア研修会に参加しました。 ・認知症ケアを実践している施設への研修に行きました。
	エルダー（新人育成）	・エルダー制を導入しました。
地域交流	保育園・幼稚園との交流	・デイでの交流会をイベントし来て頂きました。（保育園2回、幼稚園1回）
	秋祭り、乙亥祭り参加	・秋祭りにて、牛鬼、五つ鹿踊りに来て頂きました。 ・乙亥祭りにて、力士2名が来所して頂き、写真撮影を行いました。
	1日体験会の実施	・ケアマネからの新規依頼が多く、契約数も大幅に増加し今年度に関しては実施の必要性がなかった。
	ふれあい館イベント参加	・ふれあい館のつどいにて、デイを開放し地域の方に来て頂きました。また、介護相談も受けています。
	野村高校職業体験の受け入れ	依頼なし。
	広報誌の発行	・年4回の広報誌（デイ便り）を発行し、ご家族へ、デイで過ごされている様子等の紹介が出来ました。
経営改善・基盤の確立	稼働率の向上	・稼働率80%以上を目標としていましたが、インフルエンザの流行、入院者数の増加、積雪の影響などにより達成できませんでした。（稼働率75.6%）
	サービスの充実	・午前、午後の希望時間帯に入浴して頂く事で、ゆったりとして入浴時間を提供できました。 ・全利用者に連絡帳を作りました。家族との連携が充実しました。

(4) 実施事業

月	行事	研修(OJT)	その他
4月	お花見外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術研修	西予老協総会 南予老協総会
5月	こいのぼり見学	介護技術研修	県老協総会、健康診断 デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症対策研修(食中毒)	
7月	七夕行事	介護技術研修	火災避難訓練及び 消火訓練
8月	ソーメン流し	介護技術研修 救急救命講習	福祉サービス第三者評価 野村高校職業体験
9月		介護技術研修	奉仕活動 デイ広報誌発行
10月	秋祭り (牛鬼、五つ鹿踊り)	介護技術研修	
11月	紅葉狩り外出 乙亥祭り (力士2名来所) 保育所交流 1日体験会	介護技術研修 感染症対策(ノロ・インフル) 継続研修発表会(機能訓練)	
12月	クリスマス会 干し柿作り	介護技術研修 事故発生防止研修	デイ広報誌発行
1月	鍋料理 初詣外出 幼稚園交流 保育所交流	介護技術研修	
2月	節分行事	介護技術研修	
3月	ひな祭り	介護技術研修 理学療法士会研修	デイ広報誌発行
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議(カンファレンス)・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	725	536	73.9%	70.8%
5	783	597	76.2%	71.9%
6	754	575	76.3%	71.4%
7	754	603	80.0%	70.8%
8	783	594	75.9%	68.2%
9	725	555	76.6%	68.8%
10	783	606	77.4%	71.1%
11	754	596	79.0%	69.9%
12	754	545	72.3%	64.9%
1	754	479	63.5%	61.5%
2	696	493	70.8%	65.7%
3	754	635	84.2%	65.5%
合計	9,019	6,814	75.6%	68.4%

利用定員 29名

1日平均利用 21.91人

営業日 日曜日から金曜日の週6日(元日は除く)

介護度状況(平成30年 3月末現在)

介護度状況(平成30年 3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
19	31	5	9	7	14	10

平均介護度 1.9

男性 32名 女性 63名

平均年齢 88歳

4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

(1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を十分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

(2) 重点事項

①ケアマネジメントの実践

新規担当として、介護43名の受け入れを行いました。また、居宅介護担当以外でも介護相談等行っています。

地域包括ケアシステムの構築の一つとして重要である多職種連携では、顔の見える関係、また情報共有を図る事を目的として積極的に下記活動等に参加しています。

介護保険事業所連絡会、西予市介護支援専門員会、主任介護支援専門員会
地域リーダー活動、kintoneユーザー（情報ツール）、kintone運営委員
市立病院等医療カンファレンス

②適正な業務遂行

法令を遵守し、適正な介護給付等が実施出来るよう、業務マニュアルの確認、特定事業所加算遵守記録の作成、業務自己点検、特定事業所集中減算様式の作成を適宜実施しています。

③介護支援専門員の専門性向上と質の確保

支援困難ケースや医療依存度が高い方など様々なケースに対応出来るよう、積極的に研修に参加し、専門性や質の確保に努めています。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
法令遵守と適切なケアプランの作成	業務マニュアルの確認	・業務マニュアルの確認を行い、マニュアルに添った支援を実施しました。
	遵守記録の作成・確認	・特定事業所加算遵守記録を毎月作成し遵守出来ているか確認しました。
	業務自己点検	・自己点検表(居宅介護支援)にて、業務点検を実施しました。
	特定事業所集中減算様式の作成	・年2回、様式を作成し事業所保管、地方局に送付しています。
	ケアプランの点検	・市主催の介護給付適正化事業による、ケアプラン点検を受けました(年1回)。総評の結果、改善事項等確認し見直し等行っています。
	ケアプランの提出	・新規プラン作成時は市に提出(チェック)しています。市のチェック後、チェック内容の確認等実施しています。
医療との連絡・連携	市立野村病院等との連携	・病院主催で毎週木曜日行われる、病院、施設、居宅ケアマネ等参加の訪問(医療)カンファレンスに参加し情報共有・連携を図っています。個別の退院カンファレンスへの出席依頼があれば出席しています。またケアマネ側からも、カンファレンスを企画し病院スタッフに参加を依頼する事もあります。
	その他の病院カンファレンスへの出席や連携	・個別の退院カンファレンス等に参加し情報共有・連携を図っています。
	病院等主催の医療勉強会への参加	・病院主催の、褥瘡研修等に参加しました。
地域包括ケアシステムの役割の理解と構築	西予市クラウドシステム「kintone」の活用	・地域包括ケアシステム構築のツールの一つとして、介護・医療・福祉・保健・予防の連携を図っています。ユーザーとして参加し活用しています。
	西予市クラウドシステム「kintone」運営委員の受託	・導入促進及び活用推進を図る事により多職種連携の推進と地域包括ケアシステムの構築に資する事を目的とし、適正かつ効果的な運用が行えるよう、運営委員として参加しています。
	地域リーダー養成研修への参加	・地域包括ケアシステム構築のために必要な主任介護支援専門員としての役割を学んだり、活動する為、年間を通して養成研修に参加しています。
	総合事業の受託	・包括支援センターより、総合事業対象者の委託を受けプランを作成しています。また、それに伴う勉強会等へ参加しています。
介護支援専門員の質の向上	内部研修会の実施	・事業所内で適宜、認知症、プライバシー、法令遵守等の研修を実施しています。法正園、法人内研修にも参加しています。
	外部研修会への参加	・県社協研修、県や市・包括主催の研修等、介護・医療・福祉・保健・予防等の研修に計画的、積極的に参加しています。
困難事例の対応	困難事例の受け入れ	・包括支援センター等からの困難事例等の依頼を積極的に受け入れています。
	勉強会、研修会等への参加	・様々なケースに対応出来るよう、事業所内での勉強会の開催。また、外部の研修会等に参加しています。

職務内容

ア ケアプラン、記録等書類の作成
イ 介護サービス事業者との連絡調整
ウ 主治医や医療との面談、医療情報の収集や生活状況の情報提供
エ アセスメント（課題分析）、モニタリング（評価）の実施
オ サービス担当者会の開催
カ 利用者宅、サービス事業所訪問
キ 介護相談
ク 介護支援専門員実務研修等見学実習の受け入れ
ケ 他、居宅介護支援業務に関わる事

(4) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	27	60	87	1,272,730	6	13	19	81,700
5	28	60	88	1,283,260	6	12	18	77,400
6	26	58	84	1,220,250	6	12	18	77,400
7	28	56	84	1,223,140	6	12	18	77,400
8	29	52	81	1,179,880	6	12	18	77,400
9	30	56	86	1,253,420	6	12	18	77,400
10	31	57	88	1,296,460	5	11	16	68,800
11	31	57	88	1,274,150	6	11	17	73,100
12	31	54	85	1,224,450	4	11	15	64,500
1	30	52	82	1,165,640	4	11	15	64,500
2	29	51	80	1,135,470	4	11	15	64,500
3	26	58	84	1,198,040	4	7	11	47,300
総計	346	671	1017	14,726,890	63	135	198	851,400

居宅介護支援利用者介護度別 (H30年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	7	32	31	8	4	5

*要支援1は、総合事業事業対象者も含む。

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換（毎月2日）
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握（最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

職員研修

プライバシー保護に関する研修	個人情報の重要性の再認識
倫理、法令遵守、権利擁護研修	知識を深める
介護支援専門員特別研修	専門知識の習得や質の向上を図る
認知症、認知症ケアに関する研修	認知症への理解を深め、実践に活かす
地域包括支援センター主催の研修	ケアマネジメントの質の向上を図る
県や市町、医療機関主催の研修	高齢者支援全般に関することを学ぶ
地域リーダー養成研修	地域包括ケアシステム構築のため、主任介護支援専門員の資質向上を図る

5. 惣川高齢者生活福祉センター事業報告

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え誠意をもって行動します

(2) 重点事項

①安定的な事業経営

個々に応じた機能訓練による身体機能の維持。在宅生活の維持を図ることにより継続したデイサービス利用に取り組みました。機能訓練研修会参加による職員のスキルアップを行いました。

②地域密着型通所介護事業への取組

6月と3月に運営推進会議を実施して事業検討を行い、家族や地域の方の要望や意見、また利用者のニーズを汲み取った事業運営を行いました。

地域の特性に応じたデイサービス事業の実施。診療所受診後の送迎サービスの実施や地域行事の参加、幼稚園小学校との交流会を行いました。

③施設整備

西予市とLED照明への交換を協議しました。(平成30年度と31年度の2回に分けて修繕する) 公用車10人乗りハイエースを購入しました。

④重度化傾向になる入居者への対応

認知力低下であった入居者の見守り強化を行ったが、要介護状態となられ施設入所となる。その間もご家族やケアマネージャーとの報告・連絡・相談を行いました。

身体機能低下による入居者に対してケアマネージャーや訪問介護との協力体制をとり、生活しやすい環境作りを整えました。また福祉用具貸与の相談援助や入居トラブル等の支援を行いました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	利用者の意向に沿ったケアの実施	・ケアプランに沿ったサービスを実施しました。 ・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。
	家族との連絡の徹底	・送迎や来所の際にはデイサービスでの様子を伝えました。
	美味しく楽しめる食事の提供	・席の配置に配慮して雰囲気作りを行いました。 ・おやつ作りをして一緒に楽しみました。
	利用者の安全確保と事故防止	・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・環境整備を心掛け危険予知しました。
	感染症の予防	・研修会に参加してスキルアップをしました。 ・集団感染ゼロを実施することができました。
施設設備の充実	公用車の購入	・10人乗りハイエースを購入しました。
	娯楽室の環境整備	・マットの交換をして過ごしやすい環境を整えました。
	施設設備等の充実	・西予市とLED照明への交換を協議しました。
	安心して、楽しく暮らせる環境作り	・レクリエーション用品の購入によりレクリエーションの充実と危険箇所の改善により安全を図りました。
地域との連携	幼稚園、小学校との交流会	・年2回の交流会を行いました。
	地域行事への参加	・地方祭に参加し、地域の方と交流することができました。
	地域密着型サービスの実践	・運営推進会議を年2回実施しました。 ・送迎サービスを行いました。
	ボランティアの受け入れ	・地域ボランティアの方や小・中学校等の受け入れを行いました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・法正園の研修会に参加して行うことができました。
	外部研修会への参加	・在宅ケア等研修会に参加して在宅ケアの知識を習得し職員に伝達しました。
	エルダー(新人育成)の導入	・エルダー制により2名の新人育成を行いました。
経営基盤の強化	稼働率の向上	・リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 ・地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして集客増を図りました。
	設備に対してのコストダウン	・全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。
	啓発活動による利用者の増加	・惣川民生委員会議に参加してデイサービスの周知を行った。 ・地区の花見へ職員が参加しました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得できるよう努めました。
	業務の見直し	・業務分担表を作成して業務のスリム化を図り仕事の分担を行いました。
	職員間の懇親会	・定期的に懇親会を行いました。
	労働災害の防止	・通勤時の危険予知の徹底を行いました。

(4) 行事報告

月	行 事	研 修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出 (花見)	施設長講話 高齢者の現状	舟戸分館花見
5月	誕生会 レクリエーション外出 (蝶のぼり)		愛媛県老人福祉大会
6月	誕生会	食中毒研修	
7月	七夕飾り 誕生会		給食施設の衛生管理研修
8月	誕生会	救急救命講習	高齢者の生活支援研修
9月	避難訓練 誕生会		法人奉仕作業
10月	秋の遠足 地方祭見学	事故発生防止研修	
11月	小学校交流会		
12月	クリスマス会 誕生会 非常災害避難訓練	事故発生防止研修 口腔ケア研修	
1月	初詣 誕生会		在宅介護におけるリスクマネジメント
2月	節分、豆まき	今年度の振り返り	
3月	避難訓練・誕生会 小学校交流会		
毎月	誕生会、熱川職員会		
毎日	棒体操、リハビリ体操、口腔体操		

②通所介護事業

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	360	279	77.5%	66.3%
5	414	307	74.2%	66.3%
6	396	310	78.3%	56.3%
7	378	261	69.0%	55.6%
8	378	279	73.8%	50.8%
9	378	322	85.2%	62.7%
10	396	309	78.0%	56.6%
11	396	285	72.0%	63.9%
12	360	245	68.1%	54.2%
1	324	200	61.7%	50.0%
2	324	207	63.9%	52.3%
3	396	262	66.2%	78.0%
合計	4,500	3,266	72.6%	59.4%

利用定員 18名

1日平均利用 13.1人

営業日 月曜日から金曜日の週5日

(8月14日、15日と12月29日から1月3日を除く)

介護度状況 (平成30年4月末現在)

介護度状況 (平成30年4月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
4	3	0	2	0	46	14

男性13名 女性56名

平均介護度 2

6. 特別養護老人ホームしいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安楽な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的な人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 重点事項

①利用者一人一人の望む生活の支援

利用者一人一人に合った、入浴・排泄・食事の介護を行うと共に、能力や適正に応じたサービスを提供しました。また、利用者が望む活動を提示し、車椅子・買い物外出・おやつ作り・レクリエーション等と笑顔の多い楽しい生活が送れるよう支援しました。

②業務環境・介護技術等の意識改革への取り組み

業務環境改革への取り組みとして、「働きがい」や「働きやすさ」の意識を高めるため、全職員にアンケート調査を実施しましたが、様々な要因が影響して具体的な取り組みができませんでした。

利用者にとって安全かつ安心できる質の高いサービスの提供が求めらることから、毎月第3金曜日に自主参加による楽ワザ介護勉強会を開催する事で、介護技術意識を高めることができました。

③安定的な事業経営基盤の確保

事業収入の安定的確保のため稼働率（95%以上を目標）の向上に努め安定的な収入に努力しました。

経費削減に全職員で取り組みました。無駄の排除、光熱水費の削減等に努めました。特に電気料は、職員一人一人の節約意識が定着し小幅ではあるが削減に繋がりました。

④人材育成と組織力強化への取り組み

新規採用者の職員新人研修をはじめ、施設内研修会や階層別・法人研修会・老協主催研修会等に、積極的に参加しスキルアップを図りました。

エルダー制度の充実により新人育成の強化と先輩職員の成長に繋がりました。また介護福祉士等の資格取得の推進に取り組みました。

報告、連絡、相談（ホウレンソウ）の励行に努めました。

施設内において、職員交流等（互助会）を通して、施設の一員としてのチーム力強化に努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの 質の確保	利用者のニーズに 応じたケア	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の生活歴や職歴から個々のニーズに合った楽しみあるケアに努めました。 ・顧客満足度調査を実施し、利用者や家族の意向の確認を行いサービスの質の向上を図りました。
	家族との信頼関係 の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の家族への近況報告や状態変化時のこまめな連絡、面会時の伝達等と年4回の広報誌等やHPによる情報を提供し、家族との連携強化に努めました。 ・家族会総会（職員合同研修会、バイキング食）や夕涼み会等で家族との交流を行いました。 ・里帰りを計画し、家族または近所の方との交流を楽しめました。
	安全で楽しく美味 しい食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士を中心に栄養マネジメントを適切に実施し、食事委員会等で利用者様の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供に努めました。 ・給食委託業者と連携し、体調に合わせて食事内容を変更し、食べやすい食事の提供に努めました。各ユニットにて利用者と一緒に食事やおやつ作りを行ったり、利用者の希望で外食に出かけ楽しく美味しい食事を提供しました。 ・誕生日には、職員のコメントをいただき、お花・ケーキ・誕生カードの提供を行いました。 ・季節や行事に由来した行事食、旬の食材を取り入れて季節を感じられる食事を提供しました。
	身体拘束廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止委員会で検証を行い、拘束の早期解除に努めました。
	安心・安全な生活 の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故報告書等を、ユニット会・委員会等で検証し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。
	健康管理・機能訓 練	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師、ケアマネ、相談員、介護職が連携し、日常の健康状態を把握し、状態変化の早期発見・治療に努めました。 ・利用者が生活意欲を持って日々の生活を過ごして頂けるよう、日常生活を通じて機能維持を図る動作訓練を実施しました。
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの励行を周知徹底し、季節を問わず感染症予防に努めました。12月に2名の利用者にインフルエンザ感染がありましたが、拡大には至りませんでした。
	施設設備の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・利用者一人一人に合った福祉器具が不十分で、今後の課題であります。 ・防犯対策で、防犯カメラを設置いたしました。
地域との 連携	地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小中高の学生のボランティア訪問を積極的に受け入れ、また地域ボランティアの方との交流を行いました。 ・近隣地域（権の木、山本、上野）との合同夜間避難訓練を実施しました。
	地域への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・乙亥まつり、地方祭等の地域イベントに積極的に参加し地域との交流を図りました。 ・法人主催のボランティア清掃作業や町内盆踊り大会に参加し地域貢献・地域交流を行いました。
	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「しいのき」を年4回発行し、地域・関係機関に情報を提供しました。また、情報公開でホームページにおいても園内の様子を随時アップしました。

職員の質の向上	内部研修会の実施	・必修研修および職員一人一人のスキルアップを目指した研修会を計画通り実施しました。
	外部研修会の実施	・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修会に積極的に参加しました。
	エルダー制度の導入	・後輩はもちろんのこと先輩職員も共に成長できたと思いますが、エルダー同士の指導の温度差が課題にあがります。
経営基盤の強化	適正収入を確保し安定経営	稼働率95%以上を目標に取り組み、96.1%の稼働率でした。
	コスト削減の意識の強化	・水道光熱費は、デマンド仕組みの理解が定着し、小幅ではありますが削減に繋がりました。 ・介護用品（パッド等）の勉強会を専門業者の指導を受けパッドの使い分けと適切な交換回数を研究しました。しかしながらコスト意識の共有ができませんでした。 ・本年度も日用品を他社メーカーから頂き価格を検証しコスト削減に努めました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・1年間を通して勤務表にリフレッシュ休暇を取り入れることにより計画的に取得することができ取得率アップに繋がりました。
	労働災害の防止・健康管理	・全職員対象にストレスチェックを実施しました。結果報告書は各人に渡されました。 ・来年度に向け、良い職場環境で働きやすく安全・安心して勤務できるよう職員へのアンケートを実施しました。平成30年度は、職場改善委員会を立ち上げる予定です。 ・全職員対象に定期健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。
	職員間の交流	・互助会等で、定期的な交流行事を行い職員同士の親睦を図りました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 お楽しみ外出	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 トロミ使用研修	西予市老協総会 南予老協第1回総会 家族会第1回役員会
5月	健康診断 西予市老協合同遠足 里帰り 5月人形かざり	事故防止研修 虐待防止研修 個人情報保護法研修	家族会総会 県老協第1回総会 火災避難訓練及び消火訓練 広報誌59号発行
6月	里帰り、お楽しみ外出 あじさい杯 (風船レクバレー)	感染症・食中毒予防研修	野村高校出前講座
7月	そうめん流し 里帰り	ポジショニング研修	
8月	夕涼み会、七夕飾り 里帰り、七夕杯(レク) 花火見学、高校生との交流	看取りに関する研修	広報誌60号発行
9月	芋炊き、里帰り 敬老会、西予市演芸大会	口腔ケアに関する研修	夜間避難訓練(地域合同)
10月	保育所との交流 里帰り、秋祭り見学	感染症・食中毒予防研修	西予市老協職員交流会 広報誌61号発行 風水害避難訓練 野村中学・高校出前講座

11月	乙亥相撲観戦 運動会（レク）、里帰り	認知症研修	家族会第2回役員会
12月	忘年会 クリスマス飾り 餅つき、高校との交流 イルミネーション見学	非常・緊急時対応研修 AED講習	大掃除（家族会・ボランティア） 地震避難訓練 協会BCP発動訓練
1月	お年とり、初詣 新年会、魚釣り大会（レク） お楽しみ弁当	福祉機器に関する研修 排泄に関する研修	広報誌62号発行
2月	節分豆まき	事故防止研修	防犯訓練
3月	雑かざり		火災避難訓練 県老協第2回総会 南予老協第2回総会
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会（サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策）介護マイスター、クラブ活動 しいのみマート、内科検診、選択メニュー、喫茶しいのき、サークル活動、散髪・美容 高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会（内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策）法人各委員会		
随時	里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流、健康診断、歯科検診、避難訓練 相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議（緊急時）		
毎日	朝礼、ミーティング		

（5）利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,452	96.8%	101.1%
5	1,550	1,471	94.9%	96.6%
6	1,500	1,345	89.7%	97.3%
7	1,550	1,446	93.3%	97.1%
8	1,550	1,485	95.8%	97.1%
9	1,500	1,482	98.8%	98.4%
10	1,550	1,497	96.6%	97.4%
11	1,500	1,448	96.5%	93.6%
12	1,550	1,497	96.6%	93.1%
1	1,550	1,519	98.0%	96.5%
2	1,400	1,374	98.1%	97.6%
3	1,550	1,531	98.8%	97.1%
合計	18,250	17,547	96.1%	96.9%

入所者要介護度別

（H30年3月末現在）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	5	18	27

平均介護度

4.4

男性 12名

女性 38名

平均年齢

87歳

7. 短期入所生活介護事業所しいのき園

(1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

(2) 重点事項

①利用者の声を反映させ、個別に合わせたサービス提供

食事委員会を充実させたり、介護技術の伝達講習会などで、職員一人一人がスキルアップに努め利用者に合ったケアサービスに繋がりました。

ケアプランに沿って利用者一人一人のニーズに応えながらサービス提供に努めました。

各利用者の状態に合わせて、出来る範囲で家庭での生活に近づけるような居室環境を提供しました。

②業務環境・介護技術等の意識改革への取り組み

業務環境改革への取り組みとして、「働きがい」や「働きやすさ」の意識を高めるため、全職員にアンケート調査を実施しましたが、様々な要因が影響して具体的な取り組みができませんでした。

利用者にとって安全かつ安心できる質の高いサービスの提供が求めらることから、毎月第3金曜日に自主参加による楽ワザ介護勉強会を開催する事で、介護技術意識を高めることができました。

③安定的な事業経営基盤の確保

利用者の重度・高齢化に伴い、入院や死亡される方が増え稼働率が82%にとどまり、稼働率確保のため、居宅ケアマネとの連携を深め、新規利用者の確保に努めました。

経費削減に全職員で取り組みました。無駄の排除、光熱水費の削減等に努めました。特に電気料は、職員一人一人の節約意識が定着し小幅ではあるが削減に繋がりました。

④人材育成と組織力強化への取り組み

新規採用者の職員新人研修をはじめ、施設内研修会や階層別・法人研修会・老施協主催研修会等に、積極的に参加させスキルアップを図りました。

エルダー制度の充実により新人育成の強化と先輩職員の成長に繋がりました。また介護福祉士等の資格取得の推進に取り組みました。

報告、連絡、相談（ホウレンソウ）の励行に努めました。

施設内において、職員交流等（互助会）を通して、施設の一員としてのチーム力強化に努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	利用者のニーズに応じたケア	・生活歴や職歴から個々に沿ったニーズに応えサービスを提供しました。 ・顧客満足度調査を実施し、利用者や家族の意向の確認を行い、サービスの質の向上を図りました。
	家族との信頼関係の構築	・利用される利用者には事前に状況確認を行い、退所時には利用期間中の様子等を報告しました。 ・家族とのコミュニケーションを密にし、信頼関係の構築に努めました。
	安全で楽しく美味しい食事の提供	・利用者と一緒に食事やおやつ作りを行ったりして楽しく美味しい食事を提供しました。 ・季節や行事に由来した行事食、旬の食材を取り入れて季節を感じられる食事を提供しました。
	身体拘束廃止	・身体拘束廃止委員会で検証を行い、拘束の早期解除に努めました。
	安心・安全な生活の提供	・ヒヤリハットや事故報告書等をユニット、委員会等で検証し、大きな事故に繋がらないよう事故防止に努めました。
	健康管理・機能訓練	・看護師、ケアマネ、相談員、介護職が連携し、日常の健康状態を把握し、状態変化の早期発見・治療に努めました。 ・利用者様が生活意欲を持って日々を過ごして頂けるよう、日常生活を通じて機能維持を図る動作訓練を実施しました。
	感染症の予防	・手洗い、うがいの励行を周知徹底し、季節を問わず感染症予防に努めました。12月に1名のインフルエンザの感染者が出ましたが、拡大には至りませんでした。
施設設備の充実	安心・安全で快適に過ごせる環境作り ・毎月、福祉機器の点検を行い、修繕箇所や危険箇所の速やかな対応を行うことで事故に繋がらないよう努めました。 ・防犯対策で、防犯カメラを設置いたしました。	
地域との連携	地域資源の活用	・保育所、小中高の学生、地域ボランティアの方との交流を行いました。
	地域行事への参加	・法人でボランティア清掃作業の実施や町内盆踊りに参加しました。
	広報誌の発行	・広報誌「しいのき」を年4回発行し、家族に情報を提供しました。
職員の質の向上	内部研修会の実施	・必修研修および職員一人一人のスキルアップを目指した研修会を計画通り実施しました。
	外部研修会の実施	・専門的な知識や技術を習得するため、外部研修会に積極的に参加しました。
	エルダー制度の導入	・後輩はもちろんのこと先輩職員も共に成長できたと思います。
経営基盤の強化	適正収入を確保し安定経営	稼働率85%以上を目標に取り組みましたが、重度・高齢化に伴い入院、死亡者が相次ぎ、82%にとどまった。
	コスト削減の意識の強化	・水道光熱費は、デマンド仕組みの理解が定着し、小額ではありますが削減に繋がりました。 ・介護用品(パッド等)の勉強会を専門業者の指導を受けパッドの使い分けと適切な交換回数を研究しました。しかしながらコスト意識の共有ができませんでした。 ・本年度も日用品を他社メーカーから頂き価格を検証しコスト削減に努めました。

働きやすい 職場環境 づくり	リフレッシュ休暇 の計画的取得	・1年間を通して勤務表にリフレッシュ休暇を取り入れることにより計画的に取得することができ取得率アップに繋がりました。
	労働災害の防止・ 健康管理	・全職員対象にストレスチェックを実施しました。結果報告書は各人に渡されました。 ・来年度に向け、良い職場環境で働きやすく安全・安心して勤務できるよう職員へのアンケートを実施しました。平成30年度は、職場改善委員会を立ち上げる予定です。 ・全職員対象に定期健康診断を5月に実施し、夜勤業務に携わる職員は11月に2回目の健診を実施しました。
	職員間の交流	・互助会等で、定期的な交流行事を行い職員同士の親睦を図りました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	園内お花見	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 トロミ使用研修	
5月	5月人形かざり	事故防止研修 虐待防止研修 個人情報保護法研修	火災避難訓練及び消火訓練 広報誌59号発行
6月	あじさい杯 (風船レクバレー)	感染症・食中毒予防研修	
7月	そうめん流し	ポジショニング研修	
8月	夕涼み会、七夕飾り 七夕杯(レク)、花火見学 高校生徒の交流	看取りに関する研修	広報誌60号発行
9月	敬老会、芋炊き	口腔ケアに関する研修	夜間避難訓練(地域合同)
10月	保育所との交流	感染症・食中毒予防研修	広報誌61号発行 風水害避難訓練
11月	運動会(レク)	認知症研修	
12月	忘年会、餅つき クリスマス飾り 高校生徒の交流	非常・緊急時対応研修 AED講習	地震避難訓練 協会BCP発動訓練
1月	お年とり、初詣 新年会、お楽しみ弁当 魚釣り大会(レク)	福祉機器に関する研修 排泄に関する研修	広報誌62号発行
2月	節分豆まき	事故防止研修	防犯訓練
3月	雛かざり		火災避難訓練
毎月	運営委員会、ユニット会議、各専門委員会(サービス向上、企画・編集、褥瘡対策 食事、危機管理、事故防止対策、身体拘束、虐待対策)介護マイスター、クラブ活動 しいのみマート、喫茶しいのき、散髪・美容、高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	職員会、内部研修、各専門委員会(内部研修、エルダー、感染症対策、入所検討 医療行為対策、安全衛生推進、防災対策)法人各委員会		
随時	バイキング、地域交流、避難訓練、相談・苦情対策委員会、食中毒対策緊急会議(緊急時)		
毎日	朝礼、ミーティング		

(5) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	286	95.3%	93.7%
5	310	253	81.6%	93.9%
6	300	235	78.3%	93.0%
7	310	255	82.3%	98.4%
8	310	254	81.9%	95.2%
9	300	232	77.3%	97.7%
10	310	237	76.5%	99.0%
11	300	260	86.7%	106.3%
12	310	271	87.4%	98.7%
1	310	249	80.3%	85.2%
2	280	222	79.3%	93.8%
3	310	241	77.7%	82.6%
合計	3,650	2,995	82.1%	94.8%

利用定員 10名

平均介護度 2.8

8. 特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

①入浴ケア確立

勉強会等で入浴技術の向上に努め、個浴への移行ができました。

個浴だけにとらわれるのではなく、安心安楽な入浴を第一に考え、利用者の身体状況に応じて、適宜入浴形態を変更して取り組むことができました。

利用者が好きな時にお風呂を楽しむことができるよう、入浴のフルオープン化を目指しましたが、業務全体の改革が進んでおらず、今だそのレベルには至っていないのが現状です。

②排泄ケアの明確化

改修工事で降進してきた、利用者一人ひとりの排泄タイミングを把握した上での、トイレ誘導や排泄介助への取り組みが徐々に形になりつつあります。職員の意識にも変化が表れ、安直に大きなパッドを使用することが減り、結果、月10万円のコスト削減に結び付ける事ができました。

③食事ケアの明確化

その都度、利用者の心身状況や嗜好にあった日常の食事提供および食事環境の整備はもちろんのこと、季節に応じた「干し柿作り」や「ゆねり作り」や、イベント企画的な「にぎり寿司」や「クリスマスケーキ」などの食事作りを利用者と共に行いました。

夕食後のひと時には「スナック」を開店したりと、食に関して多方面から取り組むことができました。

④外出・環境づくり

計画的な外出に加え、利用者からの「〇〇へ行きたい」や「家に帰ってみたい」との声に応えた、計画のない外出を実施することが出来ました。

利用者に自分の居場所を提供するために、喫茶コーナーの充実に加え、各棟にくつろげる空間づくりを行いました。

⑤働きがいのある職場環境づくり(職員満足度の向上)

利用者一人ひとりの生活に寄り添った形での処遇が行えるよう、業務の見直しを継続的に行うように努めました。

外出や各種イベント等での利用者との関わりの中で、職員個々が感謝、感激、感動を体感することで、介護の仕事に生きがいとやりがいを感じる事が出来るよう努めました。

⑥施設間での相互評価

高齢者福祉部会内の介護職小部会にて第三者評価のふりかえりや情報の交換を行った程度にとどまり、相互評価を行うことはできませんでした。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの 質の確保	利用者の意向に 沿ったケアの実施	・カンファレンスの案内を文書で行うことで、家族の方の出席も増えました。 ・利用者や家族の意向を確認し、ハッピープランに盛り込めるように努めました。
	家族との連絡の徹 底	・毎月、苑での様子を手紙や写真で家族に報告することが出来ました。また、必要に応じて電話等で苑での様子をお伝えしました。
	家族との交流	・家族と連絡調整し、里帰りを計画実施できました(9名) ・家族会総会、夏祭り、大掃除等の行事を行い家族との交流の機会を設けました。また、喫茶コーナーやキッズスペースを設け、利用者と家族と一緒に過ごしやすい環境の整備にも努めました。
	安全で美味しく楽 しめる食事の提供	・毎月プラスで食事やおやつ作りを行うことが出来ました。
	利用者様の安全確 保と事故防止	・毎月、ヒヤリハットや事故が多く発生してしまいました。 ・事故防止対策委員会で、対応策の検討、検証を行うことで情報の共有に努めました。
	身体拘束・虐待廃 止対策	・身体拘束時の記録を付け、解除に向けた取り組みを行いました。 ・虐待への気づきを、今後も徹底していきたいと思えます。
	感染症の予防	・インフルエンザ罹患者がいましたが、早期に対応したことで集団発生を防ぐことが出来ました。 ・苑内の換気を定期的に行ったり、地域の感染状況を共有し、感染症の予防に努めました。
	施設間での相互評 価	・介護職部会にて、第三者評価の振り返りや情報交換を行っています。 ・高齢者福祉部会で相互評価の検討を行いました。まだ実施できていません。
施設設備の 充実	安心して、楽しく 暮らせる環境作り	・安全点検日を設け、苑内外の危険箇所を確認し、整備修理等を行うことが出来ました。 ・喫茶コーナー等の共有スペースの設置は出来ましたが、誰もがいつでも使えるよう工夫する必要があります。
地域との 連携	地域資源の活用	・地域ボランティア団体の受け入れを行うことで、利用者との交流を図ることが出来ました。 ・小中学校の行事に参加することが出来ました。 ・餅つき行事の際に保育園児が来苑し、利用者との交流を図っていきました。
	地域行事への参加	・地域のお祭りや運動会等に参加することが出来ました。
	防災対策	・避難訓練、通報訓練、消火栓等の使用手順の指導を行うことが出来ました。 ・地域の方と合同で夜間想定避難訓練を行いました。 ・魚成地区の避難訓練に参加し、福祉避難所の開設を行い、要援護者の受け入れ訓練を行いました。
	広報誌の発行	・広報誌(ひだまり)を年3回発行することが出来ました。 ・利用者の苑での様子を広報誌、ブログ、手紙を活用して報告することが出来ました。

職員の質の向上	内部研修会の実施	・年間研修計画に基づき、毎月研修会を実施することが出来ました。
	外部研修会の実施	・年間出張計画に基づき、各外部研修会に参加し、職員会で研修報告を行うことが出来ました。 ・R X組介護塾を定期的に開催し、専門知識や行事への取り組み方を研修しています。
	エルダー制度(新人育成)の導入	・委員会を定期的に開催し、新人職員の課題や解決に向けた取り組みを検討することが出来ました。 ・成長カード(全職員)を活用し、目標を持って業務に取り組むことができました。
経営基盤の強化	適正収益を確保し安定した運営	・長期間入院される方が多く、安定した稼働率を確保することができませんでした。
	設備・消耗品に対するコスト意識の強化	・デマンド制御の研修会を行うことで、電気料算出の仕組みを理解できた事と、制御装置で使用電力を見える化する事でコストダウンに努めました。 ・個別に排泄の見直しを行った結果、介護用品のコスト削減に繋がりました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	・各自が事前に申し出ることで、計画的に取得することができ、特老全体で62%取得できました。
	業務の見直し	・夜勤時間帯や他の勤務時間の見直し、業務内容の見直しを行うことが出来ました。
	職員間の懇親会	・親睦会を定期的に開催し、職員間の交流を図ることが出来ました。
	労働災害の防止	・毎月衛生管理委員会の中で、職員の健康教育を行いました。 ・毎月安全点検を実施し、危険箇所の抽出、改善等を行うことが出来ました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	苑内お花見 ドライブ 5名	新任職員研修9名 医療行為(吸引・経管栄養酸素)39名	職員会 日の寄進清掃ボランティア
5月	西予市老協合同遠足8名 健康診断(利用者・職員) ドライブ2名 城川小運動会見学5名 家族会総会	R X組介護塾① 虐待防止研修36名	ひだまり22号発行 今田地区道作り参加 魚成婦人会清掃ボランティア
6月	苑庭梅祭り 梅ジュース作り シルク博物館見学2名 里帰り1名	感染症予防・事故対策研修38名	職員会 大洲竹内舞踊来苑 野村高校出前講座 避難訓練(地震・火災)
7月	そうめん流し どろんこ祭り見学5名 ドライブ2名	メンタルヘルス研修32名	夏休みチャレンジボランティア2名 つつじ会清掃ボランティア24名 ナースコール工事
8月	夏まつり 外出・外食4名 里帰り2名	R X組介護塾② 看取りに関する研修38名	職員会 ストレスチェック(全職員) ステップ他ボランティア
9月	敬老の式典 シルク博物館見学2名 城川中運動会見学(2名) 外出・外食1名	事故防止対策研修37名	ひだまり23号発行 法人奉仕作業 職員会

10月	地域住民合同避難訓練(夜間想定) 西予市老協協演芸大会8名 秋祭り見学3名	感染症・食中毒予防33名	野村高校出前講座 野村高校性体験実習 更生保護女性会、人形劇披露
11月	地方祭(牛鬼、御輿)来苑 高校野球観戦1名 里帰り1名 城川小文化祭見学2名 奥伊予ふるさと祭3名 乙亥祭り見学6名	防災対策(心肺蘇生・AED)38名 RX組介護塾③	職員会 インフルエンザ予防接種 (全利用者・全職員)
12月	保育所交流餅つき クリスマス会・忘年会 里帰り2名		シェイクアウト防災訓練 野村クローバーコーラス披露 家族会清掃ボランティア
1月	年頭あいさつ 初詣5名	RX組介護塾④ デマンド制御について35名	ひだまり24号発行 吉田町老人クラブみかん慰問
2月	節分豆まき 魚成地区防災訓練 温泉外出1名	身体拘束防止研修39名	職員会 避難訓練(不審者対応)
3月	ふれあい館の集い2名 買い物外出2名 外食4名・里帰り1名	RX組介護塾⑤ 事故防止対策研修33名	職員会
毎月	運営委員会・介護士会・ミニ喫茶・バイキング・誕生会・各専門委員会(給食、褥瘡 予防、感染症予防、事故防止対策、身体拘束廃止・虐待防止対策、サービス向上、衛 生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修) 介護マイスター勉強会・安全点検・高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	入所検討委員会(3ヶ月毎)・環境整備(3ヶ月毎)・お風呂祭り(2ヶ月毎) カンファレンス・エルダー委員会 内科回診(月・木)・精神科回診(第3火曜日)		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会・法人研修会 職員会・苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,407	93.8%	96.7%
5	1,550	1,494	96.4%	97.0%
6	1,500	1,456	97.1%	97.9%
7	1,550	1,514	97.7%	99.1%
8	1,550	1,494	96.4%	95.8%
9	1,500	1,366	91.1%	92.0%
10	1,550	1,444	93.2%	98.3%
11	1,500	1,433	95.5%	95.7%
12	1,550	1,505	97.1%	92.5%
1	1,550	1,497	96.6%	94.2%
2	1,400	1,379	98.5%	90.4%
3	1,550	1,482	95.6%	93.1%
合計	18,250	17,471	95.7%	95.2%

利用者要介護度別

(H29年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	13	14	23

平均介護度 4.2
 平均年齢 83.1歳
 男性 18名 女性 32名

9. 短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

- ①各種ケア（入浴、排泄、食事）の明確化

特養と同様

- ②利用者の在宅での生活が維持できるよう、心身機能の維持に努めると共に、家族の介護負担軽減を支援。

居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携して利用者の心身機能の維持に努めました。

利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向を踏まえ、なおかつ利用者の負担にならないよう、居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減につながるよう努めました。

- ③働きがいのある職場環境づくり（職員満足度の向上）

特養と同様

- ④施設間での相互評価

特養と同様

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
サービスの質の確保	利用者と家族の意向に沿ったケアの実施	・利用者や家族の意向を居宅ケアマネと共有し、ケアプランに沿ったケアが行えるよう努めました。
	家族との連絡の徹底	・送迎時や担当者会議の際だけでなく、利用期間中においても必要に応じて、苑での状態等を報告しました。
	安全で美味しく楽しめる食事の提供	・旬の食材や嗜好を取り入れた食事作り、おやつ作りに参加して頂きました。 ・苑外でのバーベキューや芋炊きも、材料の仕込みから参加して頂き、楽しめる食事の提供に努めました。
	利用者の安全確保と事故防止	・利用者の状態把握、情報を共有し、安全に介護できるよう努めました。 ・事故対策委員会で、事故の検証や再発防止に努めました。
	身体拘束・虐待廃止対策	・特養に準じて実施しました。
	感染症の予防	・特養に準じて実施しました。
	施設間での相互評価	・特養に準じて実施しました。
施設設備の充実	安心して、楽しく暮らせる環境作り	・在宅での生活環境に近付けた環境作りを行い、安心して生活できるよう努めました。 ・他の利用者と交流できるよう共有スペースを活用しました。
地域との連携	小中学校との交流	・特養に準じて実施しました。
	防災対策	・特養に準じて実施しました。
	広報誌の発行	・特養に準じて実施しました。
経営基盤の強化	適正収益を確保し安定した運営	・グループホームや老人保健施設等への入所等により、利用者が減少しました。(82.7%)
	設備・消耗品に対するコスト意識の強化	・特養に準じて実施しました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	苑内お花見	職員対象の研修等は、特養に準じて実施しました。 	
5月	健康診断 (職員)		
6月	苑庭梅狩り・梅ジュース作り		
7月	そうめん流し		
8月	夏まつり		
9月	敬老の式典		
10月	地域住民合同避難訓練 (夜間想定)		
11月	地方祭 (牛鬼、御輿) 来苑		
12月	保育所交流餅つき クリスマス会・忘年会		
1月	年頭あいさつ		
2月	節分豆まき		
3月	雛飾り		
毎月	運営委員会・介護士会・ミニ喫茶・バイキング・誕生会・各専門委員会 (給食、褥瘡予防、感染症予防、事故防止対策、身体拘束廃止・虐待防止対策・サービス向上衛生管理、食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修) 介護マイスター勉強会・安全点検・高齢者部会介護技術伝達講習会		
定期	入所検討委員会 (3ヶ月毎)・環境整備 (3ヶ月毎)・お風呂祭り (2ヶ月毎) 内科回診 (月・木)・精神科回診 (第3火曜日) カンファレンス・エルダー委員会		
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・ふるさと訪問・内部研修会・法人研修会 職員会・苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動		

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	236	78.7%	91.0%
5	310	251	81.0%	95.8%
6	300	259	86.3%	95.3%
7	310	215	69.4%	100.6%
8	310	239	77.1%	93.2%
9	300	285	95.0%	84.7%
10	310	290	93.5%	97.7%
11	300	271	90.3%	93.0%
12	310	254	81.9%	94.5%
1	310	254	81.9%	84.8%
2	280	229	81.8%	85.0%
3	310	235	75.8%	75.8%
合計	3,650	3,018	82.7%	91.0%

利用定員 10名
平均介護度 2.6

10. デイサービスセンター寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 重点事項

①各種ケア（入浴、排泄、食事）の明確化

利用者に対する職員個々の気づきをミーティング等で報告し、情報の共有を行うことで個別ケアの協議、調整を行いました。

季節感のある食事を提供することで、楽しく食事をして頂くことが出来ました。

②利用者の在宅での生活が維持できるよう、心身機能の維持に努めると共に、家族の介護負担軽減を支援

居宅ケアマネから提供されるケアプランを基に作成した通所介護計画に沿って、介護及び看護が連携して利用者の心身機能の維持に努めました。

利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向を踏まえ、なおかつ利用者の負担にならないよう、居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減につながるよう努めました。

③働きがいのある職場環境づくり（職員満足度の向上）

特養と同様

④施設間での相互評価

特養と同様

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
安心して利用できるデイサービスづくり	利用者のケアプランに基づくサービスの提供	・ケアプラン等への調整は図れましたが、職員間でその情報の周知徹底を図ることが充分ではありませんでした。
	安全で美味しく楽しめる食事の提供	・旬の食材を活かし、季節感のある食事の提供ができました。 ・予定にないおやつ作りを行うことができました。
	利用者の安全確保と事故防止	・事故発生時その都度、対応策等の検討・協議を行いました。 ・車両ヒヤリハットの様式を作成して、危険箇所の共有と周知徹底を図ることに努めました。
	身体拘束・虐待廃止対策	・毎夕のミーティング時に、利用者への対応等の話し合いを行いました。拘束・虐待はありませんでした。
	防災対策	・様々な災害を想定した訓練を、入所施設と連携して行いました。
	家族との連絡	・連絡ノートや送迎時に情報の交換を行い、状態の把握に努めました。 ・顧客満足度調査を行い、要望等の把握と改善に努めました。
	施設間での相互評価	・施設間の相互評価は実施できませんでしたが、運営規定等の整備を合同で行いました。
介護技術の向上	内部研修会	・年間研修計画に基づき、毎月研修会を実施し、職員個々のスキルアップを図りました。

介護技術の向上	外部研修	<ul style="list-style-type: none"> ・年間出張計画に基づき、計画的に研修会に参加しました。 ・先進施設への研修は、人員の配置が難しく実施できませんでした。
	エルダー制度(新人育成)の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・エルダー委員会を実施し、新人職員の教育を行いました。 ・成長カードを、新人職員だけでなく、全職員が半期の目標を立てて仕事を行うことができました。
地域とのつながり	地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児や地域のボランティア団体との交流ができました。
	広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行時期が少し遅れることがありましたが、年3回発行することが出来ました。
経営基盤の強化	適正収益を確保し安定した運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ等と連携を強化して情報の共有を行いました。 ・長期の入院や他の施設に入所されたりして、利用者の安定した確保が出来ませんでした。 年間平均利用者数 18人
	設備・消耗品に対するコスト意識の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド監視装置を設置し、使用電力を見える化することで、コストダウンに繋げることが出来ました。 ・消耗品等の費用支出削減に努めました。
働きやすい職場環境づくり	リフレッシュ休暇の計画的取得	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期に休暇が集中しましたが、全員が休暇を取得でき計画的に取り組みました。
	業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・毎夕のミーティング時やデイ職員会で見直しの検討を行い改善を図りました。
	職員間の懇親会	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦会の行事に参加して、親睦を深め良好な関係に繋げることが出来ました。
	労働災害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時やデイルームでの危険箇所の洗い出しを行いました。 ・2/9 労災1件ありました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	苑内お花見	研修等は、特養に準じて実施しました 	職員会
5月	健康診断(職員)		デイだより発行①
6月	梅祭り		避難訓練(地震想定)
7月	そうめん流し 七夕まつり		
8月	納涼祭		特養との合同職員会
9月			特養との合同職員会
10月	避難訓練(夜間想定)		更生保護女性会、人形劇披露
11月	地方祭(牛鬼、御輿)来苑		特養との合同職員会
			デイだより発行② インフルエンザ予防接種(全職員)
12月	クリスマス会・忘年会		
1月	年頭あいさつ 新年会		
			デイだより発行③
2月	節分豆まき、お楽しみ会	特養との合同職員会	
3月	ひなまつり	特養との合同職員会	

毎月	運営委員会・デイサービス会・各専門委員会(給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃、虐待防止対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修) 誕生会 介護マイスター勉強会・安全点検・高齢者部会介護技術伝達講習会
定期	環境整備(3ヶ月毎)・カンファレンス・エルダー委員会
随時	避難訓練・交流会・内部研修会・法人研修会・職員会・苦情対策委員会
毎日	朝礼・ミーティング・ストレッチ体操、ハイタッチ運動

(5) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	625	462	73.9%	78.3%
5	675	538	79.7%	81.5%
6	650	537	82.6%	80.6%
7	650	498	76.6%	82.0%
8	675	467	69.2%	76.6%
9	650	483	74.3%	83.8%
10	650	465	71.5%	84.3%
11	650	441	67.8%	80.5%
12	650	465	71.5%	75.0%
1	575	360	62.6%	77.8%
2	500	336	67.2%	72.3%
3	675	452	67.0%	72.1%
合計	7,625	5,504	72.2%	78.7%

利用定員 25名
 1日平均利用 18人
 営業日 月曜日から土曜日の週6日

介護度状況(平成29年 3月末現在)

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2	事業対象者
22	23	10	12	9	10	9	3

平均介護度 2.5 (要支援・第1号対象者を除く)

11. 養護老人ホーム奥伊予荘

(1) 行動指針

- ①入所者の意思及び人格を尊重し、常に入所者の立場に立って処遇を行います。
- ②入所者の能力に応じ、健康で自立した日常生活を営むことができるように支援を行います。
- ③地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、地域福祉の増進に努めます。
- ④職員は専門的知識及び技術の習得と向上を図り、自己研鑽に努めます。

(2) 重点事項

① 西予市福祉計画7期に向けた特定施設移行への提案

- ・8/18養護老人ホーム奥伊予荘運営に関する要望書を提出。

一般型特定施設入居者生活介護事業への移行について、西予市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に組み込んで頂くよう要望し、第7期計画書の第7章（4）施設・居住系サービス利用者の見込みに、特定施設入居者生活介護を組み込んで頂いています。

② 人材育成と組織力強化

内部、外部研修に計画的に参加し、スキルアップを目指しました。重度化になっている現状を受けとめ、協会内の介護技術伝達講習にて介護ケアの底上げに努めました。しかし、まだまだ十分な技術の習得には至っておらず、引き続き技術の習得に力を入れていきたいと考えています。

一人ひとりが知恵を出し積極的に事業の見直し行事の工夫等、一人の気づきを大切に協議していく事で、組織の中の一職員として業務を遂行できるよう微量ではありますが前進できています。

③ サービスの質の向上

重度化傾向に向かっている入所者の対応として、支援テーブル、肘付き椅子、車椅子、報知装置等、入居者の安全確保と事故防止のため、福祉用具の購入を行いました。

リフト車購入にて、歩行困難な利用者の外出・通院等に日々活用することが出来ています。また、ユニット内の食堂・機能訓練コーナーの空調設備修繕・LED化を行い快適な環境確保に努めました。外灯設置・防犯カメラ設置により防犯対策にも努めました。

④ 安定的な事業経営

民間施設給与改善費、障がい者加算等の各種加算の申請を昨年同様行いました。平成29年度の稼働率が93パーセントと前年度に比べ3.5パーセント減少し、措置事業収益減となっています。

四国電気保安協会の職員より、電気について(節電)の研修を行いました。給食委託業者ロハスの職員また奥伊予荘職員のコスト意識も定着しつつあります。

⑤ 地域交流の推進

地域交流・地域貢献事業として奥伊予のつどいを8回計画し、6回実施致しました。2回については、インフルエンザが流行した時期になり中止しています。

奥伊予荘で映画鑑賞して頂きその後、勉強会を行っています。延べ人数88名の地域の方の参加がありました。

また地域行事に参加し、地域の方との交流を図りました。保育所、小学校、中学校との交流にも努めました。

(3) 事業報告

取組み事項	取組み(詳細)	取 組 報 告
特定施設移行に向けた研修・準備	養護老人ホームにおける一般型特定施設についての研修	内部研修にて一般型特定施設入居者生活介護事業移行への研修会、疑問を出し合い勉強会を行いました。 移行施設の情報収集・見学施設後も継続して情報収集を行っております。
	西予市福祉計画7期への提案	8/18養護老人ホーム奥伊予荘運営に関する要望書を提出。一般型特定施設入居者生活介護事業への移行について西予市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に組み込んで頂きました。
自発的(考える)組織の実現	職員の質の向上	内部、外部研修に計画的に取り組み、知識・技能・接遇の向上に努めました。
	事業の見直し	移管後3年目で、今までの流れを理解し、余暇時間・生活環境作り一人ひとりが知恵を出しあい検討しました。レクリエーションや入浴・排泄・食事に関して業務の見直しを行っております。
	各委員会の内容充実	必須委員会、また会議の整理を検討し、各会議の内容充実に努めました。
介護技術・支援技術の指導	施設内研修の充実	重度化になっている現状を受け止め、三大介護、排泄・入浴・食事に係る介護技術伝達講習を計画的に行いました。また、入所者個々の把握に努め情報共有のもと入所者が安心できる支援に努めました。
	認知症の研修	各研修等での内容を職員会等で周知し、認知症の理解、また入所者個々の理解に努め専断をもった対応ができるよう、情報の共有を図りました。
自立生活に向けての取り組み	生活環境の改善	支援テーブル、肘付き椅子、車椅子、報知装置等、重度化に伴い入居者の安全確保と事故防止のため、福祉用具の購入を行いました。また、入所者も転倒防止のため室内スリッパから介護用シューズへの変更をして頂いています。
	楽しく、おいしい食事の提供	食事に関する調査を行い、選択メニュー・行事食等ニーズに答えられるよう努めました。 各ユニットで入所者が食づくりに参加し、残存機能の活用・食づくりの伝承等で、マンパワーを発揮して頂くように努めました。
	感染症の予防	感染対策委員会と連携しながら、週2から3回の施設内の消毒清潔維持に努め、集団感染症の発生に努めました。
	地域交流の推進	積極的に保育所、小学校、中学校との交流を図りました。 地域行事に参加し、地域の方との交流を図りました。 地域交流・地域貢献事業として奥伊予のつどいを実施致しました。延べ人数88名の地域の方の参加がありました。
リハビリ運動の継続	支援者の養成	16時からのリハビリ体操が、できるよう職員養成を行いました。4名の職員がリハビリ体操の習得をし、毎日の体操を行うことが出来るようになりました。
	器具の充実	入所者が自主的に機能訓練できる器具は28年度から変わらず、充実はできませんでした。 手軽にできるレクリエーション用具、風船・トランプ・ジャンカ・カラオケ・DVD鑑賞の充実はでき、ユニット内でのレクリエーションの充実はできました。

稼働率の向上と事業コスト削減	適正収益を確保し安定した運営	加算・補助金等適正な収入確保につとめました。入院等が多く稼働率は93.6%で、昨年に比べ3.5%減となり収入減となっております。
	設備・消耗品のコスト意識の強化	節水コマの設置により節水、デマンド監視装置により電気的目標値を定めコストダウンに努めました。
法人内施設間での相互評価の実施	高齢者施設間での審判	高齢者福祉部会にて第三者評価結果の分析を行い、各施設と情報共有し施設入所者の適切なサービス、質の向上に結びつくように努めました。 特に審判で指摘があった地域との交流・地域貢献に努めました。

(4) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 五月人形(飾り付け) 大洲とみず山外出	事業計画と施設方針 新任職員研修 介護技術	西予市老協総会 南予老協総会 県老協総会 奥伊予太鼓来荘
5月	西予市老協合同遠足 健康診断 鬼北外食外出	介護技術 特定施設について	奥伊予シアター 草刈り
6月	家族会 年金友の会外出 菖蒲見学外出	介護技術 脱水 食中毒、感染予防	土砂災害防災避難訓練 家族会総会 広報誌発行
7月	七夕飾り ふるさと訪問 ドライブ外出・買い物外出 そうめん流し(各ユニット)	特定施設について 身体拘束・虐待防止	奥伊予のつどい 夏休みチャレンジボランティア
8月	納涼祭 ふるさと訪問 盆法要 魚釣り・買い物外出	リスクマネジメント	避難訓練消火訓練 夏休みチャレンジボランティア 奥伊予のつどい
9月	敬老の式典 ふるさと訪問 買い物外出	介護技術(移乗) ケアプラン研修	奥伊予のつどい 職員健康相談 避難訓練研修
10月	地域交流大運動会 老協演芸大会 ふるさと訪問 買い物外出	個人情報保護 プライバシー保護	草刈り 広報誌発行 奥伊予のつどい
11月	健康診断(夜勤者採血) 城川中学校文化祭見学 紅葉見学 ドライブ外出 ふるさと祭外出 乙亥外出	電気について(節電)	奥伊予のつどい インフルエンザ予防接種
12月	西予市老協合同避難訓練 クリスマス、忘年会(ユニット) 餅つき 買い物外出	感染症 (インフルエンザ ・ノロウイルス)	避難訓練(シェイクアウトえひめ)
1月	新年会 初詣	介護伝達講習	広報誌発行
2月	節分 ドライブ外出	コンプライアンス 特定施設について	
3月	ひな祭り(飾り付け) 春彼岸法要 お不動さん 退職異動者お別れ会	心肺蘇生・応急手当他 高齢者に多い疾患	西予市老協総会 県老協総会 南予老協総会

毎月	職員会・運営委員会・給食委員会・合同ユニット会・処遇委員会・企画委員会 ・事故再発防止委員会・（医療的ケア・感染症対策）～3か月に1回・誕生会・選択食 ・ホール喫茶・ユニット食・ボーリング大会・フジマート販売・福寿会役員会
定期	・散髪 ・カンファレンス・ユニット消毒 ・習字
随時	避難訓練・地域行事外出・交流会・内部研修会・法人研修会・クラブ活動
毎日	・ラジオ体操 ・足踏み体操 ・体操

(5) 入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	2,000	95.2%	98.6%
5	2,170	2,108	97.1%	97.7%
6	2,100	2,078	99.0%	96.5%
7	2,170	2,159	99.5%	96.5%
8	2,170	2,063	95.1%	97.3%
9	2,100	1,925	91.7%	97.5%
10	2,170	1,975	91.0%	98.0%
11	2,100	1,926	91.7%	99.1%
12	2,170	1,980	91.2%	97.6%
1	2,170	1,922	88.6%	96.0%
2	1,960	1,809	92.3%	94.8%
3	2,170	1,965	90.6%	96.2%
合計	25,550	23,910	93.6%	97.1%

入所者要介護度別

(H30年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28	9	8	16	7	2	0	0

男性 24名 女性 46名

平均年齢 85.4歳

措置機関別入所状況

西予市 66名 宇和島市 3名
大洲市 1名

12. 奨学金事業

(1) 基本方針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

(2) 重点事項

①奨学金制度の周知

愛媛県南予地区の高等学校に「奨学金のしおり」を配布しました。又リクルート活動時に各学校で奨学金制度について説明し、ホームページや広報誌にも掲載しました。徐々に周知され、奨学金制度に関する問合せも来ています。

②利用促進（奨学生の確保）

平成29年度は、3名の奨学生に年間一人60万円を貸与しました。平成30年度の奨学生として1名決定しています。公益的な役割を果たすと共に、将来の当法人の人材確保に繋げることができています。

(4) 実施事業

月	事業内容
4	HP掲載
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付
6	協会広報誌掲載、リクルート活動
7	西予市広報誌パンフレット配布、リクルート活動
8	リクルート活動
9	協会広報誌掲載、リクルート活動
10	リクルート活動
12	第1回西予市野城総合福祉協会奨学生審査委員会
	平成30年度奨学生決定（1名）

【今後の課題及び展開】

平成30年に実施する採用試験には、平成29年度の奨学生1名が受験する予定です。合格すれば、初めての奨学生が平成31年度から就職することになります。公益的な役割を果たし法人の人材確保のため、奨学制度の周知に努めます。

